

338  
918

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

一九三六年版

化粧品製造化學研究學會編

# 化粧品製造化學講座

第 壹 卷

質問券付 (製造及美容相談)

# 始



化粧品製造化學講座 第一卷 目次

化粧品製造化學講座の開講を祝し其上途を餞す

第一 化粧品科學通論 第一篇

第二篇

第二 藥物解説

第三 有機素及醫化學製品並色素

第四 香料概論

第五 天然及人造香料解説

第六 化粧品及部外品製造法

農學博士 石坂橘樹 (一—三)

本會 研究部長 平田萬壽保 (目次一—四)

日本聖書學校教授 聯合青年會々々長 小林寅之助 (一—)

東京農業大學 教授 農學博士 石坂橘樹 (目次一—三)

農業講義録主幹 本會 編輯部長 新井友吉 (目次一—三)

元五十公野製肥會 社 技師 所主 平田萬壽保 (目次一—六)

東京農業大學 教授 農學博士 石坂橘樹 (目次一—三)

本會 講師 平田萬壽保 (目次一—三)

第七 毛髮料製造法

第八 香水及香晶品製造法

第九 化粧品關係法規解説

第十 外装及販賣收金法

本會 經理部長 河越朝彌 (目次一—三)

本會 講師 賀川 寬 (目次一—六)

前衆議院議員 本會 講師 坂本一角 (目次一—六)

前共同製藥取締役 本會 企劃部長 講師 田邊道依 (目次一—三)

科外 化粧品化學タイムス 第一卷第一號 目次

美肌と基礎劑の研究 賀川 寬 (二)

讀者に對する責任 河越朝彌 (八)

生むものゝ苦しみと喜び 牛窪旭鵬 (九)

化粧品科の組織と一科の獨立 平 新吉 (一〇)

新時代の日本女性に化粧の更生を求む M 生 (二三)

本會會章の制定 (一七)

質問 應答 (一八)

美容 相談 (一九)

質問 券 (二〇)

寄稿 規定 (二一)

研究會々則 (二二)

編輯 後記 (二三)

化粧品製造化學講座 第一卷 目次

化粧品製造化學講座の開講を祝し其上途を餞す

第一 化粧品科學通論 第一編

第二編

第二 藥物解説

第三 有機素及醫化學製品並色素

第四 香料概論

第五 天然及人造香料解説

第六 化粧品及部外品製造法

東京農工大學 博士 石坂橋樹 (一—三)

本會 研究部長 平田萬壽保 (一—一三)

日本製藥學校教授 聯合青年會會長 小林寅之助 (一—)

東京農工大學 教授 農學博士 石坂橋樹 (一—一三)

農學博士 本會 編輯部長 新井友吉 (一—一三)

元五十公野農會 技師 平田萬壽保 (一—一六)

東京農工大學 教授 農學博士 石坂橋樹 (一—一三)

本會 編輯 平田萬壽保 (一—一三)

第七 毛髮料製造法

第八 香水及香晶品製造法

第九 化粧品關係法規解説

第十 外裝及販賣收金法

科外 化粧品化學タイムス

美肌と基礎劑の研究 賀川 寛 (一)

讀者に對する責任 河越朝彌 (八)

生むものゝ苦しみと喜び 牛窪旭鵬 (九)

化粧品科の組織と一科の獨立 平 新吉 (一〇)

新時代の日本女性に化粧の更生を求む M 生 (一一)

本會 經理部長 河越朝彌 (目次一—三)

本會 講師 賀川 寛 (目次一—三)

前衆議院議員 本會 講師 坂本一角 (目次一—三)

前共同製藥取締役 本會 企劃部長講師 田邊道依 (目次一—三)

第一卷第一號 目次

本會會章の制定 (一七)

質問應答 (一八)

美容相談 (一九)

質問券 (二〇)

寄稿規定 (二一)

研究會々則 (二二)

編輯後記 (二三)



# 化粧品製造化學講座の開講を祝し其上途を餞す

農學博士 石坂橘樹

化粧品製造化學研究學會の組織成り、新たに其講座開始せらるゝに當り、一言所懐を述べて其の上途を餞せんとす。

惟ふに文化の發達と共に、人々の趣味向上し嗜好高尚となり、従つて整容の美を欲するは、人情自然發の露であり、就中美を生命とする年若き女性にとつては、緊喫の要務であり、決して虚榮・奢侈を以て之を阻むことは出来ぬ、否適正なる化粧整美は、人生本然の自然美を發揮する所以の途にして、禮讓乃至健康の点より見るも之を讚稱すべきである。而して此需要を濟充せんとして諸種の化粧品續出し百花競ふが如き觀あるも、時に其宣傳徒らに大にして其實効之に伴はざるもの少からざるは甚だ遺憾とする所である、殊に將來化粧品製造販賣に向はんとし、又趣味的手工的に自家愛用の化粧品を試作せんとするものに對して何等指針とするものなかりしは、化粧品學界・業界の一大缺點として指稱せざるを得ざる所である。

此時に當り本講座の開設は誠に時宜を得たるもので、從來紛然雜然として何等歸制するところなかりし化粧品製造化學に、最近の醫化學及藥化學初め理・工・醫・藥の各方面の新知识と經驗を求め、之を體系化し、簡明平易に記述し、何人も了解するに苦まず、直ちに實施開業の手引として遺憾なきを期せるは、眞に空谷に登音を聞くの概あり、後進子弟を誘掖するに於て貢獻するところ甚だ大なりと云ふべく、化粧品方面に於ける從來の弊風は之に依て全く一洗せられたりと云ふべきである。

茲に其開講を喜び、祝辭を申上ぐる次第であるが、一言望蜀の感を述ぶるを許さるゝならば、化粧品學は實驗科學であるから、會員の指導上遺憾なきを期せらるゝには、研究所乃至實驗室の設置と開放とが要求されるであらう、依て研究學會たるもの、眞に其使命を全くせんが爲めには、將來「化粧品製造化學工業學校」の設立を企劃せられ、實驗演習の設備を整へ、眞に化粧品學の指導上遺憾なきを期せられんことを切望したい。かくして通信講座の普及と直接指導の學校教育と相俟つて、化粧品教育は茲に完成せらるゝと謂ふことが出来よう、一言を敢てし其上途を餞する次第である。

悉ク最新化學ノ智識ト應用

全講 貳千餘頁

一 一 一  
日 日 日  
早 早 早  
ク ク ク  
知 學 實  
リ ビ 行  
ハ ノ モ ル ス  
也 者 利 勝

悉ク經驗ト學理ノ成華

特 231  
944

講師

第一編 本會 研究部 部長 平田 萬壽保  
第二編 日本聖書學校 教授、神之教 會長 小林 寅之助

第壹講座 化粧品科學通論

化粧品製造化學研究學會編

# 第壹講座 化粧品科學通論 目次

## 第壹編 總論

### 緒言

- 一、緒言……………唯一ノ手工業
  - 二、化學工業
  - 三、化粧品製造應用化學ト其使命
  - 四、定義 三則
- 第壹章 化粧品ノ沿革
- 第貳章 化粧品ノ種類分類
- 第參章 化粧品ノ原料概念
- 第一項 工業藥品トアルコール
  - 第二項 醫療藥品
- 第一講座 化粧品化學通論科

第一講座 化粧品化學通論科

目次二

第三項 有機色素

第四項 色素

第五項 香料

第六項 水

第四章 化粧品ニ關スル醫學及醫化學

第一項 化粧品醫學

第二項 整容醫學ト化粧品

第三項 化粧品醫學

第五章 計量法

第六章 製造發賣ト法律及道德

第七章 美容化粧品ト流行

第八章 嗅感論

第九章 製造ニ關スル諸準備

第十章 製品ノ市場販出迄ノ諸課程

第十一章 最近ニ於ケル化粧品及香水ノ向程

### 第貳編 心理ト化粧品

第一章 創造ニ關スル藝術的考察

第二章 製造家ト良心

第三章 輸出ト世界人類ノ化粧品及香料ニ對スル各異ナル嗜好研究

第一講座 化粧品化學通論科

目次三

## 第壹篇 總論

### 緒言

#### 一、緒言

晨ニ星ヲイタ、キタニ月ヲ踏ムバカリガ農業ノ振興デハ無ク、肉ヲ打チ骨ヲ削リ夜陰天地ノ靜寂ヲ破ツテ、ハンマーノ響キヲ續ケル事、彼ノ「森ノ鍛冶屋」ヲ思ハセル程ノ工作ノミガ工業ノ振興トハナラナイ。

時代ハ一九三六年、將ニ世界ハ經濟宣戰產業割據ノ有様デ、不戰ノ戰ハ吾人ヲシテ一日モ安意セシメナイ。ノミナラズ永キ間ノ資本主義機械主義ノ文明ハ、中産以下ニ於ル吾人ノ生活ヲ脅カシ、國家的ニ又個人的ニ總ユル忌ワシイ争鬪時代ヲ演出シテ居ルノデアアル。コノ世界文化ノ極致ニ生存スル我々ハ、頭腦ノ力、科學ノ應用ニ依ツテ、少クトモ此ノ文化ト共ニ歩ミ得ルノ途ヲ考究シナケレバナラナイ。殊ニ人口稠密ニシテ資源ノ乏シキ我が日本帝國モ、今ヤ大滿洲國ノ確立ヲ助ケ、近クコ、ニ資源ヲ求メ、東洋ノ盟主トシテ、世界經濟戰場ニ堂々トシテ大躍進ヲナシツ、アルノ今日ニ於テハ、國民一般ガ一刻ノ油斷



モ一瞬ノ倦怠モ許サレヌ。コノ多難ナル時局ニ相遇スル吾人ハ徒ラニ右傾シ左傾シ、社會國家ヲ論ズル前ニ先ヅ自己ノ本然ニ入ツテ自分自身ノミジメナル姿ヲ見テ、端的ナル人生生活ノ核心ニ立ツテ、自己ノ立命ニ勤メナケレバナラヌ。

特ニ産業ハ機械化ナシ、大工場大資本ニ依ツテノミ獨專セラル、ノ今日、無産乍ラモヨク自營獨立ヲ確保セントスル人々ノ、物的方面ノ立命ヲ得ル爲メニハ、特種化學ノ應用ニヨツテ經濟理法ノ最大原則、即チ「最少ノ勞費ニヨツテ最大ナル効果ヲ得ル」ノ分別ヲシナケレバナラナイ。

サテ以上ノ如ク限定セラレタ上デ考慮シテ見ルニ、殆ンド機械ヲ用ヒズニ大工場製品ニ劣ラズ、工賃則チ加工勞役ニモ大差ナク、少量ヅ、デモ、家内工業トシテ出來、從ツテ大シタ資金ノ固定スル事モナク、製造者ノ熱心ト誠實、努力ト研究サヘ重ネテ行ケバドコマデモ躍進出來得ルモノト言フタラバ「化粧品ト香水ノ製造」ヨリ外ニハ一寸ト見出スノニ困難デアラウ。

## 二、化學工業

藥物諸原料ノ分析、合成、化合、調合ニヨツテ人生有用ナル物ヲ製出スルヲ化學工業ト言フノデアアル。今日吾人ノ日用スル殆ンド總テガ化學應用ノ工藝品ト云フテヨイノデアアル

ガ、前述ノ様ニ之等工業操作ヲ見ルト其中ノ九迄バ機械工業デアツテ、大資本大工場ニヨツテノミ其完成ヲ得ルモノデ、無産ナル一個人ノ家内工業トシテハ不適當ト言ハネバナラヌ。ソコデ我等ニ殘サレタ天ノ美祿ハ唯ダ唯ダ、化粧品ト香水製造工業一ツアルノミデアアル。家内工業デ出來テ、資金ガ不用デ、物質欲ヲ滿シ、同時ニ幾分精神のナモノト言フコトナニ現代人ニ注文通りノモノガ外ニ二ツトアルハズガナイ。

## 三、化粧品製造ト香水調合ト其使命

一般化學工業製品ハ、藥物ノ化合、合成等ニ依ツテ製造セラレ、良ク自然ヲ征服シ文化的生活ニ満足ヲ能フルヲ其職能トスルモノデアアルガ、同ジク應用化學ニテモ、化粧品ノ製造ハ、他ノ一般工業トハ全々異ナリ、實ニデリケートナ特色ヲ持ツテ居ル。

化粧品ノ使命タルヤ、ドコマデモ自然ニ從ヒ、自然ニ則シテ自然ヲヨリヨク美化シ、自然ノ外装ヲ（肉體）何人モ天ノ美神ノ如ク美化セシメテ、因ツテ以テ、其美シキ外装ノ内ニ宿ル精神ヲモ、美化進展セシメントスル、人生文化ニ實ニ重大ナル任務ヲモツ事、他ノ化學工業ニ於テ見ル可ラザル哲學的超科學的崇高ナル職分ヲ有スルモノデアアル。

人生ヲ盛ル男女相愛ノ感情ハ、人類自然ノ流レデアアル。コ、ニ人類永遠ノ生命ハ保持セラレテ行ク。其感情ヲ興奮セシメントスルモノ、否、少クトモ興奮セシメン事ヲ一半ノ目

的トシテ生レ出デ、且ツ無限ナル發展ノ道程ヲタドリツ、アル近代の企業ハ、何ント云フテモ化粧品デアアル。白粉デアアリ、香水デアアル。

白粉ト香水ハ、戀愛ノ媒介者デアアル。人生缺ク可カラザル日用ノ糧デアアル。從ツテ人生自然ノ欲求ハ爭ソハレナイ。一寸見タ處デハ、今日都會以外デハ、或ル一部ノ職業婦女ニ用ヒラレル、ニ過ギナイ様ニ思ハレ乍ラ、其使用額ハ、齒磨キ石鹼ヲ除外シテモ、今日計上サレテ居ル消費量實ニ年額四千八百餘萬圓ト云フ誠ニ素バラシイ數字トナツテ現レテ居ル。其内千百萬圓ガ輸入製品デ二百萬圓足ラズガ輸出セラレテ居ルガ、累年ノ輸出増加ノミナラズ、本年ノ如キハ躍進日本ノ世界市場進出ト共ニ、既ニ一千萬圓近キ輸出ヲ見、輸入製品ハ激減シテ居ル、日本製品ガイヨイヨ認メラレテ、世界市場ニ本格的ニ活躍ノ境上ニ立チ、一般世界人ニ愛用サレル様ニナツタラ、此ノ膨大ナル數字ハ更ニ鼠算級數ヲ以テ増加スル事ハ明ラカデアアル——又一方近來ノ眼醒マシイ日本製品ノ海外進出ニ對シ、各國ガ墻壁ヲ建テ、之ガ阻止ヲ計リ、遂ニ輸出ニ於テ販出ノ目的ヲ達成シ得ナイトスルモ實質本位ノ低廉ニシテ、優良ナ化粧品ガ製出サレテ、確實ニ使用ノ効果ガ有効デアツタナラ、マダマダ多クノ消費量ガ計上サレルノデアアル。

一般インテリ—婦人ニ云ハセルト、今日ノ化粧品ハ、第一不廉デアアル、第二實質ノ眞價

ガ信ゼラレスト。吾人化粧品ノ製造ニ向フモノハ、コノ意ヲ體シ、化學ヲ基礎トナシ、最新醫化學、藥化學ノ應用ヲナスト共ニ、道德的ニ哲學的ニ崇高ナル精神ヲ打チ込ンデ、眞ニ自然ニ從ツテ自然ヲヨリヨク美化シ得ルモノヲ製作スル事ニ專念シナケレバナラナイ。欲求スルモノハ、ソコニ精神ノ欠陥ヲ生ズルモノデアアル。ツマリ其處ニ弱點ガアル。弱點ハ付ケ込マレ易イ。特ニ「弱キモノ汝ノ名ハ婦女子」デアアル。理性ヨリモ感情ニトラハレ易イ婦女子等ヲ重ナル愛用者トスル化粧品ノ製造ニ於テ、販賣競争ノ結果、多クノ精神的墮落セル製造者ニヨツテ、外装ノ美ニノミ專心シ、内容ヲ顧ミザルモノ、又ハ一時的的好奇心ニ迎合シ、又ハ一時的の嗅感ヲ利用シテ製出セラレ、殆ンド製品賣價ノ二割位ニモ値スル膨大ナル廣告ニ依ツテ宣傳ヲコト、シ、同ジク三割ニモ値セントスル外裝容器等ヲ用ヒテ衆目ヲ引キツケントシ、更ニ販賣者及ビ顧客ノ優遇ト稱シテ或ハ一流劇場へ或ハ温泉へ招待ナシ、小賣業者ニ各二割ノ利益ヲ與ヘルトセバ、其製造工賃ソノ他製造者ノ利益ヲ一割ト見テモ、實ニ實質ハ何ント一割ニ過ギヌモノトナルデハナイカ。例へバ五十錢賣價ノモノ、五十錢ヲ以テ五錢ノ實質ヲ求メシメ、尙ホヨク一時的の勝利ヲ得ル等、種々ノ陋策生ズルニ至リ、國家ハ法律ヲ以テ之ガ製造販賣ノ免許證制度ヲ定メ、充分ナル檢定ヲナシタル上其販賣ヲ許可スル事トナツタノデアアル。製造者ハ其各品ニ付、各一通ヅツノ免許證ヲ

## 要スル。

特ニ白粉ノ如キ、良ク着ク、延ビガヨイト云フ点ヨリ、唯美シカラントノミ希フ理性ナキ婦女子ニ迎合シ來ツテ、今日迄、鉛白即チ炭酸鉛ノ如キ有毒性ナル鉛化物ガ廣ク其原料ニ用ヒラレ、遂ニ使用者ノ體內ニ溶ケ入ツテ、恐ル可キ鉛中毒患者トナシ、更ニ其子ヲ生レ乍ラノ不具者低能者トスル如キ、殺人的害毒ヲ及ボス程ノ不道德製造者（今日デハ不法行爲者）ヲ見ルニ至ツテハ殆ンド言語同斷ト云ハナケレバナラナイ。

コ、ニ貴重ナル紙上ヲサイテ其一例ヲ舉グレバ、筆者ノ裏住宅ニ住メル、某廳ノ一老吏ガアツタ。多クノ子供ヲ擁シ薄給者トシテ家計難ノ爲メ、其一助トシテ長女ヲ某喫茶店ニウエートレストシテ働カシテ居タ。其母ハ常ニ「娘ノオ蔭デ一家生活ニ脅ヤカサル、事ナイ」ノヲ近隣ノ人々ニモ物語リ、非常ニ平和ナ樂シイ家庭デアツタ。三年バカリ職業婦人トシテ立派ニ務メ上ゲタ彼ノ小娘モ今ハ二十才ノ花モ開キ、某大學出身ノ秀才ト美シイ戀ニ入ツテ、兩親ノ承認ヲ得テ、同家ノ二階ヲ改装シテ家庭ヲ結び、總ユル幸福ハ彼氏ト彼女ノ爲メニ天ガ造ツテ與ヘタノカト思ハレル位、ハタノ見ル眼ニモ笑マシゲナ生活ハ續ケラレタデアツタ。ヤガテ彼女ガ母トナル可クモ早ヤ二・三ヶ月ノ後ヲ待タル、頃カラ、サスガニ美シカツタ彼女ハ、顔面蒼白著シク、起居モ自由ナラズ、時々近隣ニ聞ユル程ノ

痴痛ヲ訴ヘ、齒科醫ニハ口内炎ヲ、耳鼻科ノ醫院ヘハ耳下腺炎ヲ、胃腸病院ヘハ胃洗滌ニト毎日數ケ所ノ病院ヘ、恰カモ病氣ノ問屋ノ有様デ通フ様ニナツタ。カクテ遂ニ臨月ハ來タ。某有名産科院ニ入院出產シタ。出產五日目ニ遂ニ愛兒ト戀ノ夫ヲアトニ貧血ト皮下動脈狹窄ニ依ツテ、苦痛ヲサケビツ、他界シタデアツタ。

尙一家悲痛ナルナゲキノ内ニ、生後一週間ノ愛兒ハ、急性腦膜炎デ死亡シ果テタノデアル、何ト云フ氣ノ毒ナ事デアラウ乎！アマリニモ突風のニ來ツタコノ續ク不幸ニアキラメキレズ、遂ニ大學病院デ解剖ニ附シタ結果、母體ノ脊髓被膜内ニ、六十五瓦ノ鉛ノ塊ヲ發見シタノデアアル。

總テノ悲劇ハ、其原因ヲ含鉛白粉ニ歸スル外ハナイノデアアル。實ニ彼ノ殺人強盜ノ如キ暴力不法行爲、直接行動以上ニ痛恨スベキ蠱毒事デハナイカ。併モカ、ル多クノ殺人ト傷害ノ罪ヲ重ネ乍ラ平然トシテ業界ニ濶歩シテ居ル、惡德製造家ノ罪ヤ萬死ニ値スルト云ハシ。昭和八年ヲ以テ我國ニ於テモ、世界協約ニ基キ、斷然含鉛白粉ノ製造ヲ禁止シ、市場ヨリモ其品ヲ絶タシムル様、人類ノ敵トシテ國法ニヨツテ、善化ヲ策スルニ至ツタノデアアル。最早ヤ大體ハ良品ト云ヒ得ルガ、次ノ藥品ニテ檢出スルコトガ出來ルカラ次頁ニ參考迄ニ附記シヨウ。

鉛檢出法 —— 檢定セントスル白粉ヲ先ヅ稀鹽酸ニ溶キ、之ニ重クローム酸加里、又ハ臭素加里ヲ加ヘテ黃色ノ沈澱ヲ生ジタル時ハ其白粉ハ含鉛白粉デアアル。別法トシテハ、檢定セントスル白粉ニ、硫化水素ヲ通ジテ黑變シタル時ハ其白粉ハ銀又ハ鉛ヲ含有スル事トナルガ白粉ニ銀ヲ含ム理由ナキニヨリ、結局含鉛白粉ト斷定スル事ガ出來ルノデアアル。以上ノ如ク、吾人製造家タラントスルモノハ、唯單ニ營利ノミヲ目的トセズ、ヨク道德的愛他心ヲ涵養シテ、人類共榮ノ道ヲ忘レテハナラナイ。

尙最後ニ一言シテ置カネバナラヌ事ハ、化學ノ應用ニ於テハ、獨斷ト云フ事ハ絕對ニユルサレナイ一事デアアル。必ズ化學ノ法則ニ基キテ、分析、化合、融和ノ量定實驗、及ビ人體皮膚、組織、胎内諸器官ニ及ボス反應ヲ、幾度モ實驗統計ヲ重ネ、充分ナル研究ヲ經タモノデナケレバ、科學的ニ價値ナキト共ニ、永ク廣ク一般愛用者ヲ益シテ、聲價ヲ得續ケル事ガ出來ナイノデアアル。

諸君！ 諸君ハ眞ノ化粧品ノ觀念カラ演繹シテ、化粧品製造ニハ、化學ノ内ノ何ヲ知ル事ガ最も重要デアアルカヲ悟ツテ、其現象ヲ研究シナケレバナラナイ。

充分ニ理論ヲ知了シテ、一切ヲ完全ニ消化シテ、サテ之ヲ極メテ平易ニ應用シテコソ、大工場大機械モ、諸君ノ五本ノ指デ、ヨク代行シテ行ケル譯トナルノデアアル。

#### 四、定義 三則

以上ヲ綜合シ、化粧品化學、製造法及ビ美容ノ研究ヲナスニ先立ツテ、次ノ三ツノ定義ヲ立シ得ル。

(A) 化粧品化學トハ、有機、無機藥物諸原料ノ合成及ビ香料ノ調合藝術ニヨツテ、人間自然美ノ増進ヲ目的トスル應用化學デアアル。

(B) 化粧品トハ自然ニ則シテ自然人ノ精神ヲ、嗅覺ヲ通シテ、又其肉體ヲ塗布滲透ニヨツテ、美化更生セシムル化學製品デアアル。

(C) 現代化粧法ハ、各人ノ個性ヲヨリヨク發揮シ、此ニ美ヲ創造シテ、若サト健康ナル肉體ノ所有者トシテ、明朗睿智ナル靈ノ懽懽ヲ表現スルニ有ル。

### 第三章 化粧品ノ沿革

人文ノ發達ニヨツテ大別四ツノ時代ニ分類スルヲ適當ト思フ。人間創生以來連綿トシテ男ハ強カラント欲シ、女ハ美シカラント欲スル繼續ガ歴史デアルトサヘ極言出來ル。以下四ツノ時代ニ分類シテ、其化粧品ノ發達ヲ簡單ニ述ベテ見ヨウ。

#### 一、原始時代

造化ノ神ニヨツテ造ラレタル、神ノ使徒デアアル人類モ、イブガ蛇ヨリ受ケタ誘惑ニヨツテ、男女ノ別ヲ知り、生殖慾ヲ生ジ、天國ヲ失フタ日ヨリ、早クモ男女相互ニ其戀ノ相手方ヲヨリ良ク選バントスルニ及ンデ、他ヨリモ美シカラシガ爲メニ苦心セル跡ハ歴史ニ明カデアアルガ、未ダ化學上ノ智識モ無キ時代ノ事ナレバ、天産物其マ、ノモノサヘモヨク識別シテ用フルマデニ至ラズ、僅カニ、求婚ノ女ハ其耳朶ヲ赤ク色彩リ、既婚ノ女ハ口ノ周圍ニインデゴ―則チ藍ヲクマドリ、男子ハ勇壯一人前ノ男ニナルニ及ビ其顔面及ビ兩腕ニ刃ヲ加ヘテ、強暴勇猛ヲ現シ等シタノデアアル。今尙ホ太古ノ此遺風ハ我國ニ於テモ、アイヌ族、近クハ生蕃族等ノ間ニ之ヲ見ル如ク、顔ノ凹面ニ入墨ヲナシ、又神前ニ舞フ巫子ガ位星ト稱シテ眉宇ニ黒点ヲ附シテ崇高ナル氣品ヲ表現スルガ如キ、完ク太古ノ遺風ノ一

例デアアル。

一言ニシテ云ヘバ、原始時代ハ直接加工時代デアアル——コノ身體ヘノ直接加工ガ化粧ノ領域ヲコヘテ異常ナル發達ヲナシ、藝術化セラレタノガ今日ノ「ホリモノ」即チ文身トシテ存在シテ居ルノデアラウ。

#### 二、中期

ヤ、進ムニ及ンデ、自然ニ産スル動・植・礦物ヲ採集シテ、之ヲ其儘塗ツテ美化ヲ計ツタ我國等デハ、カラス瓜、ヘチマ等ノ果汁ヲ用ヒテ、皮膚ノ攝養劑トシテ、今日ノ化粧水ヤクリームノ役割ヲ立派ニ務メサセタモノデアアル。尙ホ、ベニ草ノ汁ヲ搾ツテ唇ニ塗り、頬ヲ色彩リ、白粉草ノ實ヲ粉ニシテ顔ニ塗り、菜種・ゴマ・椿等ノ種子ヲ搾ツテ、養毛美髮ニ使用スル等重ナルモノデアツタ。

以上ノ如ク、其始メハ多ク野生ノ植物ニヨレルモ、季節ト生育地方トノ關係上常ニ平均ヲ得ル事ノ不便ナル爲メ、ヤガテハ礦物質ノモノニ遷轉シテ來タ。即チ白土ノ如キヲ洗顏ニ用ヒ、伊勢白粉ノ如キ好ンデ用ヒラレタノデアアル。

ヤガテ又礦物性物質ノ皮膚ヲ荒スヲ悟リ、三轉シテ、米ヌカヲ洗顏ニ用ヒタリ、又植物汁ヲ加工精製シテ、保存シ得ル様ニシテ用フルニ至ツタ。

香料ニ於テモ(クワシクハ香料篇ニ述ブ)千草百花ヲ採ツテ、胞衣ノ内ニ入レテ香氣ヲ愛スル等、特ニ支那印度等舊文化ノ東洋ニ於テハ、早クヨリ麝香猫ノ生殖袋ヲ乾シテ香料トナシ、眞甲鯨ノ精液ノ結晶ヲ海邊ニ見出シテ龍涎香トテ靈香トシテ貴重シタノデアアル。ヤガテハ之等ノ採收販賣ヲ業トスルモノ生ズルニ至ツタ。

一言ニシテ云ヘバ、中世紀ハ則チ天然物採收時代ト云ヒ得ルノデアアル。

コ、ニ附言シテ諸君ノ注意ヲウナガス必要ガアル。ソレハ彼ノ支那ノ唐藥、漢藥ノ如キ天産動・植・礦物ヲ醫藥トセルモノガ、一時化學製藥ニ壓セラレテ、殆ンド顧ミラレナカッタモノノ今日再ビ再検討ノ粗上ニ載セラレ、盛シナル研究ト共ニ偉大ナル使用効果ガ認めラレツ、アルガ如クニ、化粧ニ於テモ、是等中世紀ニ愛用セラレタル天然物ノ内ニ、現代製品以上ニ使用効果アルモノ、存在ヲ否定出來ナイ一事デアアル——來ルベキ時代ニ處スル人々ニヨツテ、再度ノ検討ト考究ガ必要デアアル事ヲコ、ニ強調シテ置ク。

### 三、近 世 期

時代ノ進轉ハ、男女共ニ華麗ヲ喜ビ、社交ノ進歩ハ美ノ競争ヲ演出シ、婦女子モヨウヤク多端トナリ、若キ男子ヲ吸收スルカフエー其他婦人ノ職業ハ益々美裝ヲ競ヒ來ツテ、必然ノ要求ハ學理ノ探究、化學ノ應用ト相マツテ、多量ナル化粧品ノ購買力ニツナヘル爲メ

無機及ビ有機ノ諸原料ヨリ、之ガ分解化合混和ニヨツテ、化學應用化粧品ノ製造工業トナルニ至ツタノデアアル。

需要ノ極端ナル又急激ナル増加欲求ハ、大製造所、大研究所ヲ林設セシメテ、尙ホ足ラズ、或ハ類似模倣ノ諸製品ヲ濫造セシメ、今日ノ大勢ヲナスニ至ツタノデアアル。

近世期ハ將ニ化學應用時代デアアル。

### 四、未 來 期

製造者ハ如何ナルモノニ於テモ一般購買者販賣者ニ先ンジテ一日ノ先達者デアアルヲ必要スル、サリトテアマリニモ時代ニ先ンジ過ギタルハ古ク陳腐ナルヨリモ販出ノ目的ヲ達シ得ナイ、コノ邊ヨク考慮スベキ事項デアアル。

サテ餘談ハサテ置キ、現代文化ノ行キツマリトシテ、一時ノ虛榮逸樂ニ、一時的の外見美ニ、浮キ身ヲヤツシテ居タ現代婦人及ビ使用者モ、又一方ニ於テ、自己ノ一時的利益ノ獲得、自己ノ個人的福利ニノミ汲々タリシ一般製造家及ビ販賣者モ、世界經濟ノ行キツマリニ逢フテ、蹶然トシテ、此ノ未曾有ノ時勢ノ逼迫ニ、ヨウヤク自力更生ノ途ヲタドラントシテ、深ク内容ノ研究ヲナスニ至ツタノデアアル。

一般化粧品需要者トテモ、安價ノ如ク見ヘテ、一時ノ外裝ニ過ギヌ今日ノ化粧品ノ如何

ニ高價ヲ、其一生ニ代償シナガラ、何等明カナル効果ヲ見ルヲ得ザルノミナラズ、白粉其  
 他ノ化粧品ノ爲メ、化粧焼ケヲ招キ、中年頃ニ於テ、シミ、小ジワニ痛ム事ドモヲ思考シ  
 ヲウヤク其内容ヲ認識スルニ及ンデ、コノ行キツマレル時代ト戰ツテ、更生ノ忍苦ノ修練  
 ヲナサザル可カラザルノ境地ニ至ツテ、コ、ニ人體ノ永久的美化ヲ完成シ得ル様ナ化粧品  
 ヲ研究スルノ必要ニセマツテ來タノデアアル處へ、幸ニモ、醫化學、藥化學ノ長足ナル進歩  
 ニヨツテ、人體ノ諸有機素及ビ、ホルモン内分泌ノ明瞭スルニ及ンデ、唯單ニ外装シ、  
 一時的塗料養皮ノ域ヲ超エテ、人體其モノニ働キ掛ケテ、人體ヲ若返ラセ、根元的ニ美化  
 シ了スルヲ得ル化粧品、否、化粧劑トシテ進ミツ、アルノデアアル。

斯クテ、化粧品製造ハ、效果本位トナリ、多クノ醫療藥品ハモトヨリ、有機素、ホルモ  
 ーン劑、生活々生菌類、諸電子ノ應用ニ進ミ出ヅルデアラウシ、香料ノ如キハ、芳香、消  
 毒、防腐ノ域ヨリ、鼻腔ヲ通シ、又ハ皮膚滲透ニヨツテ、人體神經ニ刺戟ヲアタヘテ、ア  
 ル有効(若返リノ如キ)效果ヲモタラシ、更ニ人體刺戟液ホルモンノ過不足ヲ調節シテ  
 行ク様ニナリ、斯クテ、化粧品ノ使命ハ、將ニ醫術以上ニマデ進出シテ、化粧ニ因ツテ、  
 總テノ健康ト潑瀾タル活氣ニ滿チタ、清崇タル精神ヲ造リ上ル時代へ歩ミツ、アル。

將來期ハ將ニ人體ノ根本更生救命、美化若返リヲ完成スル、則チ醫化學時代デアラウ。

## 第貳講座 藥物解說

講師

東京農業大學  
 教授農學博士 石坂 橘 樹

化粧品製造化學研究學會編

# 第貳講座 藥物解說目次

## 第一章 工業用藥品解說

- 第一項 アルカリ屬諸藥品ノ解說
- 第二項 酸性屬諸藥品ノ解說
- 第三項 中性屬藥品ノ解說
- 第四項 アルコール屬各品解說

## 第二章 醫療藥品解說

- 第一項 對應症用普通諸藥品ノ解說
- 第二項 對應症用毒劇諸藥品ノ解說

## 第三章 諸化粧品ニ應用セラル、諸製劑解說

- 第一項 藥化學應用ノ新製劑ニシテ化粧品ニ用ヒラル、物ノ解說
- 第二項 醫化學應用ノ新製劑ニシテ化粧品ニ用ヒラル、物ノ解說

第二講座 藥物解說科



第四章 寒 劑

第五章 防腐劑ト香料防腐

第六章 油脂各品解説

- 第一項 礦物油各品ノ解説
- 第二項 植物油各品ノ解説
- 第三項 動物油各品ノ解説

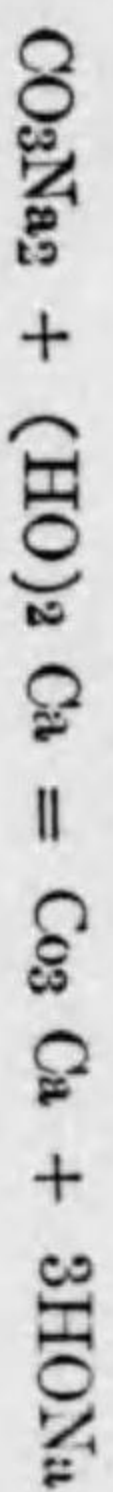
第一章 工業用藥品ノ解説

第一項 アルカリ屬藥品ノ解説

一、苛性曹達ト苛性加里

製法 苛性曹達ハ、水酸化ナトリウムデ、苛性加里ハ、水酸化カリウムデアアル。性質ハ酷似シテ居リ、製法モ殆ンド似タモノデアアル。

昔時ハ海草、煙草ノ莖等ノアルカリヲ多分ニ含有ナル植物ヲ燒キテ、炭酸曹達又ハ加里ヲ造リ、之ニ石灰乳ヲ作用セシメ、更ニ鹽化亞鉛ヲ加ヘテ、硫化亞鉛ヲ沈澱サセテ得タ。其變化ヲ化學方程式ニテ表セバ次ノ通りデアアル



近時ハ總テ電解法ニヨツテ得ラレタル。即チ、A、隔壁法、B、水銀分解法、C、鍾筒式電解法等アルガ、隔壁法ガ最モ廣ク用ヒラレテ居ル、比重ノ差ヲ利用シテ鹽素液ニ食鹽ヲ徐々ニ加ヘテ、苛性滴液ヲ底下分離セシムル。

形態 何レモ白色不透明ノ固體デ、水分ニ潮解發熱シテ溶液トナル。空氣中ニ放置スレバ、炭酸曹達又ハ加里ニ還元シ、其苛性ヲ失スルガ故ニ、常ニ密封貯藏スルヲ要スル。

局法ノモノハ、苛性曹達ハ小サキ破片珠狀ニ結成サレテ居リ、苛性ナトロント稱シ、苛性加里ハ圓柱棒狀ニテ、苛性ボタシウムト稱シテ販賣サレテ居ル。何レモ劇物ニテ取扱ヒニ注意ト敏速ヲ要スル、左手ニ蓋ヲモチ上ゲ、右手ニピンセットニテ取り出スガヨイ。

**用途** 脂肪ノ鹼化性强ク、苛性曹達ハ石鹼ノ製造ニ、苛性加里ハクローム類ノ製造ニ用ヒラレ、特ニ苛性加里ハヤ、鹼化度弱ク、軟ラカニ作用スルモノナレバ、化粧水、ベルツ水ニ少量(一〇〇〇グラムニ對シ〇・五グラム位)ヲ溶カシテ、皮膚ノ洗滌及ビ皮膚軟化ニ有効デアアル。

各、脂肪一〇〇分ヲ完全ニ鹼化スルニ要スル分量ヲ對比シテ見ヨウ。

脂肪成分	苛性曹達ノ場合	苛性加里ノ場合
パルミチン酸脂肪	14.9	20.8
ステアリン酸脂肪	13.5	18.9
オレイン酸脂肪	13.6	19.1

**附記** 太古埃及ニ天然曹達トローナ產出シ、中古時代「ヴェネチア」石鹼製セラレ、其後、海草ヲ燒イテ灰化シ、其滴汁デ曹達ガ製ラレルニ及ンデ、始メテ、マルセーユ石鹼ガ出現シ、今日ノ盛大ナル石鹼工業ノ源ヲナシテ居ルノデアアル。

## 二、炭酸曹達ト重炭酸ナトリウム(重曹)

**製法** ルブラン法、ソルギー法即チアンモニア曹達法、或ハ水晶石ヲ原料トシテ製出スル方法等アルモ、重ニ電氣分解ノ方法ニ依ツテ海水ヨリ造ラレル。海水ヲ電氣分解器ニ汲ミトリ、之ニ電流ヲ通ズレバ、十即チ陽極ニ於テ鹽素ヲ生ズルノデアアル。此鹽素ヲ石灰ヲ充シタル内ヘ導ク時ハコ、ニ漂白粉ヲ生ズル。他方一即チ陰極ニ於テナトリウムヲ生ズルカラ、之ヲ水中ニ導イテ、水酸化ナトリウムト成シ、更ニ炭酸瓦斯ヲ通ズレバ炭酸ナトリウム、即チ炭酸曹達ガ得ラレルノデアアル。特ニ製造スル事ハ少ナク、重ニ副製產品トシテ得ラル。重曹ハ、炭酸曹達ノ水溶液ニ無水炭酸ヲ通ズレバ生ズル。

**形態** 無色ノ固體ニテ、水ニ融解スレバ透明トナリ、粉末ニスレバ白色ノザラザラシタ重イ粉末トナル。十倍量ノ水ト結合セバ單斜晶系ノ結晶トナル。之ガ洗濯曹達デアアル。

重曹ハ白色小粒狀ノ結晶ニテ少量ハ水ニ溶解シ、微弱ナアルカリ性反應ヲ持ツ。

**用途** 化學分析ニカクベカラザル者ニシテ、對應症化粧品ニ用ヒラレ、諸君ハ健胃劑トシテ御存知ノモノニテ、アルカリ調節劑トナリ、又酸解消劑トシテ、製造工業ニ使用セラル、モノデアアル。

## 三、硼砂 $\text{Na}_2\text{B}_4\text{O}_7$

**製法** チベット地方ニハ固形ニテ、チンカールトシテ、又亞細亞大陸ノ諸湖水中ニ溶存シテ天産シ、米國カルフォルニア洲地方ニテハ、カルシウム鹽トシテ多産スル。  
天産ノ硼酸（伊太利地方噴火山中ニ）ニナトリウムヲ加ヘテ熔融シ、水ニ結晶セシメテ製スル事ガ出來ル。

**形態** 白色ノ硬質結晶ニテ、塊片トシテ存在シ、酒精及ビ水ニハ極メテ少ナク百分ノ六位ノ溶解ニ過ギザルモ、グリセリンニハ良ク溶解シ、アルリカリ性ニシテ苛鹽味ヲ持ツ。

**用途** 金屬酸化物ト化合スルガ故ニ、酸素溶接トシテ、鐵ヲツナグニ用ヒラレ、幾百貫ノ棒デモ、其折レタモノヲ接合スルニ新シキト同ジ力ノモノトナル事ハ驚異トシテ人ノ知ル處、多量ノ酸素ヲ含有スル故ニ、化粧品ニ用ヒテハ、顔面漂白劑トナリ、又アルカリ性ナレバ洗滌ノ力相當ニアリ、アル程度迄脂肪ヲ鹼化スル。又硬水ニ溶カセバヨク水中ニ含有スル礦質ヲ沈澱セシメテ、軟水トナス。

アルカリ性化粧水、即チライラツク化粧水ノ主原料デアリ、ニキビトリ化粧水ニ加ヘテ効アリ、過酸化クリーム等ニ用ヒラル、外、コールドクリーム製造ニ抽加サレテ、脂肪ノ乳化（弱鹼化）ノ爲メ重要セラレル。硫酸キニーネ及ビ硼砂ニテ色ヲ白クスル化粧水等簡單デ實際効果アリテ面白カラシ。

#### 四、炭酸マグネシウム炭（炭廬）

**製法** 結晶硫酸マグネシウム及ビ結晶炭酸ナトリウムヲ各別ニ水ニ溶解シ置キ、六十度ヨリ八十度ノ温熱ニ於テ混合スル時ハ、無水炭酸ヲ發生シテ、硫酸ナトリウムト炭酸マグネシウムトヲ生ズル。此變化ヲ化學方程式ニ現セバ次ノ様デアル。



**形態** 質輕ク鬆疎ナル程良質デアル。水ニハ絶對ニ溶解セズ、炭酸含有水ニハ少量溶解スル。尙ホ、局方ハ一ポンド入レニシテ輕質、重質、假性トアルモ化粧品ニ於テハ輕質ガ用ヒラレル。

**用途** 制酸劑トシテ、胃藥ニ炭酸ト共ニ用ヒ、撒布劑トシテ汗知ラズ等ニモ加ヘ、齒磨粉ノ主原料トモナリ、其他種々様ニ用ヒラレル。

化粧品製造ニ於テ、最モ重大ナル任務ヲ果タスハ、其水ニ溶解セザル性質ヲ利用シテ、水溶含有ノモノノ白濁セルヲ沈降透明セシムル特效ヲ以テ常ニ用ヒラレ、重大ナル役割ヲ勉ムルモノデアル。

#### 五、炭酸鉛（鉛白）

**製法** 鉛板ニ醋酸ヲソ、ギ熱スル時ハ、醋酸鉛ヲ生ジ、之ニ炭酸瓦斯ヲ通ズル時ハ、製

出セラル。

**形態** ヤ、灰白色ノ極メテ重キ粉末ニシテ、醋酸、硝酸ニ溶解シ、鉛毒ヲ有シ、硫化水素ニ黒變スル。含鉛白粉ヲ用ヒテ、人體皮膚分泌物中ノ硫化物ト作用シテ黒變シ鉛色ヲ呈ス。不良白粉ヲ着ケテ温泉ニ入りテ眞黒ニナルモノノ爲デアアル。

**用途** 顔料、化粧用固煉白粉ニ加ヘテ、其覆被力多ク、着キモ延ビモ共ニヨク廣ク用ヒラレ來レルモ、恐ル可キ鉛毒ノ害毒甚シク、昭和八年、絶對ニ其使用ヲ禁ゼラレ、又製造家モ之ニ換フルニ、チタン酸化物ヲ用フルニ至ツタノデアアル。

外用藥トシテ、皮膚ノ收斂乾燥ノ力强キモ現今ハ用ヒラレズ、唯顔料トシテ、染物等ニ、又、ペンキ等ニ用ヒラレテ居ル。

### 六、滑石末 (タルカム)

**製法** 常州町屋ニテハ橄欖岩トシテ、又武州秩父地方ニテハ蛇紋岩トシテ多産シツ、アル。化學的ニ云ヘバ、含水硅酸苦土デアアル。

**形態** 白色ニシテ、石鹼質ノ指感ヲ持ツ粉末ニシテ、弱アルカリ性デアアル。

**用途** ソノ滑ラカナルト、粉末ノ微細ナルト、價格ノ低廉ナルトニ依ツテ、齒磨粉、塗料、顔料ニ加味セラル、ノミナラズ、化粧品製造ニ於テハ粉白粉、汗知ラズニ重用ス。

### 七、輕粉

古來伊勢地方ニ天産シ、又支那雲南ニ多産シ、白色粉狀ニシテヨク皮膚ニノルモノナレバ昔時 Hanson、白粉トシテ販賣セラレテ居タ、今モ支那白粉ト稱シテ、行商支那人ノ手ニテ販賣セラル、モ、之ハ塩化第一水銀ニシテ毒物デアアル。

我國ニテハ伊勢白粉ト稱シ、支那ニテハ雲南白粉ト稱シ、其白色粉狀ノ塊ヲ小サキ桐函等ニ入レ、麝香ノ香等ヲ添ヘ、艶美ナル包装ヲシテ幕末頃迄盛ンニ販出サレテ居タ。

皮膚病ニ用ヒテハ防腐治病ノ効有リ、毛髮ニ用ヒテ毛ジラミノ驅除藥トシテ相當ノモノデアアル。

## 第二項 酸性屬藥品ノ解説

### 一、硫酸

**製法** 硫黄ノ酸化ニヨツテ製出セラル。鉛室法ニヨルモ、接觸法ニヨルモ、硫黄ヨリ亞硫酸瓦斯ヲ造リ、之ヲ酸化セシムルト、無水強硫酸ヲ生ズル。之ヲ百倍ノ水ニ水溶液トシタルモノガ強硫酸デアリ、水一〇〇ノ内ヘ強硫酸一ヲ点滴攪拌シテ混合セシメタルモノガ稀硫酸デアアル。

**形態** 酸味強ク、澁味アル無色透明ノ液體ニテ、諸酸化物ヲ作ルニ用ヒラル。

用途 工業藥品トシテ重用セラレ、香含有有機體ノ電解工作ニ用ヒラレル。  
二、 枸 橈 酸

製法 南洋ニ産スル枸橈（我が台湾ニモ特産スル）果汁ヨリ精製シタル植物酸ニシテ、酒石酸、林檎酸ト共ニ植物酸デアル。

形態 無色、無臭、稜柱狀ノ高尙ナル酸味ノ結晶ニシテ良ク水ニ溶解ス。

用途 化粧品ノ製造ニハ植物性酸性ノモノヲ造ルニ用ヒラレ、硫酸等ト異ナリ、其少量ハ皮膜ヲ荒廢スル事ナシ、從ツテ、レモン汁等ト共ニ用ヒテヨシ。

三、 醋 酸

製法 結晶醋酸曹達ヨリ水分ヲ除去冷却シテ、氷醋酸ヲ得ルモノニシテ、稀醋酸ヲ得ルニハ、氷醋酸一七グラム、水八三グラムヲ混和シテ造ラレ、之ヲ更ニ十倍乃至二十倍ニ稀釋スルト食用酢ヲ得ラレル。

形態 無色透明、強酸味臭ヲモチ、アンモニアノ如ク鼻ヲツク香アリ、氷醋酸ヲ開口空氣ニフレ置クト即時氷結シ、容易ニ氷解セザルニヨリ注意スベシ。

用途 枸橈酸ト同様ニ用ヒラル、ノ外、香品品ノ製造ニハ特種必要原料藥デアル。

四、 硼 酸

製法 噴火口ノ蒸氣ステホニー中ニ天産スレドモ、普通ニハ硼酸ナトリウム即チ硼砂ヲ三倍ノ沸騰蒸氣中ニ溶解シテ、之ニ百分ノ六ノ硝酸ヲ注加スル時ニ硼酸ハ析出サレル。

形態 白色鱗狀ノ結晶ニテ、眞珠様ノ光澤アリ、滑カニシテ常温水ニ二十五パーセント即チ百分ノ二十五溶解スル。アルコールニハ良ク溶解スル。此アルコール溶解シタルモノヲ点火スルトキハ、美シキ青色ノ炎ヲ發スル。

用途 化粧品ニハ防腐劑トシテ多ク用ヒラレ、特ニ化粧水、汗知ラズ、水白粉、等ニ混ゼラレ廣ク用ヒラレル。

五、 過 酸 化 水 素

製法 過酸化バリウムヲ水ニ潤シ、五倍ニ稀釋シタル稀硫酸ヲ注加スル時ハ、過酸化水素ヲ含有スル鹽化バリウムヲ生ジ、之ニ水酸化バリウムヲ加ヘルト含水鹽酸バリウムハ沈降シ、更ニ又硫酸ノ稀薄水溶液ヲ注加スル時ハ、硫酸バリウムヲ沈降セシメ、稀薄ナル三パーセント位ノ過酸化水素水ガ出來上ル。之ヲ真空蒸餾スルニヨリ濃液トナルガ酸素ノ離散ニ特ニ注意製作ヲ要ス。

形態 無色、無臭、僅カニ澁イ酸味ヲカスカニ舌頭ニ感ズル。心持チ水ヨリ粘着質ガアル様ナ氣分ガスル。空氣中ニ放置スレバ、 $H_2O_2$ ノ〇即チ酸素一分子ヲ發散シテ、 $H_2O$

即チ水トナル故ニ常ニ嚴重ニ密封シテ暗所ニ置クヲ要シ、藥局等ニテ販賣セラル、モノニテモ、古キモノハ變質セル唯ノ水ノ如キモノト思ヘ。

**用途** 酸化力強大ナル故ニ漂白ノ力強ク、又消毒性最モ強シ、強キモノハ皮膚ノ角質ヲ犯シ、毛髪ニツク時ハ赤化シ枯死セシムルガ故ニ、漂白化粧水等ニ混入シテ、色ヲ白クスル目的ニテ返ツテ、皮膚ヲ荒シ、眉毛ヲ犯ス等ノ事アレバ注意スベク、ニキビ取り等ニ混入セラル、モ、硼砂ヲ利用シタ方ガ増シデアル。

#### 六、二酸化チタン

**製法** チタンノ酸化物ニシテ、天然ニハ金工石即チ二酸化チタントシテ産出スル。

**形態** 光澤アル白色ノ微細ナル粉狀ノ結晶ニシテ、二五〇〇度ニ加熱スルト熔融スル酸化力強ク、比重ハ五・一デアル。

**用途** 近來、鉛白ノ使用禁セラレテヨリ、覆被力多クシテ、無毒ニシテ價ノ高カラザル者種々考究サレ、次硝酸蒼鉛即チビスミットハ覆被力多キモ高價ニテ、白粉ノ原料ニハ使用ニ絶エズ、コ、ニ二酸化チタンガ盛ンニ用ヒラレ、亞鉛華ト混合シテ其覆被力ヲ増シ、最モ適好ナルモ、末ダ價ガ少々高價ニテ、宣揚ハサレ乍ラ未ダ一般白粉ノ原料トマデハ行ハレザルヲ残念ニ思フ。

### 講師

農藝講義録主幹  
本會編輯長 新井友吉

## 第參講座 有機素及醫化學製品並色素

化粧品製造化學研究學會編

# 第參講座 有機素及醫化學並色素 目次

## 第一章 有機素

第一項 普通化粧品原料有機素解説

第二項 對應症化粧品原料有機素解説

第三項 人工諸營養素各説

## 第二章 醫化學製品ノ應用

第一項 ホルモン劑解説

第二項 生活活生菌劑解説

第三項 漢藥ヨリ應用シ得ルモノ、檢討

## 第三章 色素

第一項 工業色素(不溶性色素)

第三講座 有機素及色素

- 第二項 反應色應用ニヨル色
- 第三項 油脂染色用専門ノ色素
- 第四項 植物天然色素

## 第一章 有機素解説

### 第一項 普通化粧品原料有機素

#### 一、澱粉

**製法** 澱粉ハ、葛根、カタクリ、馬鈴薯等ヨリ得ラル。其製造ニハ之等ノ原料品ヲ搗碎シ、細胞膜ヲ破リ、澱粉ヲ洗出シ、沈澱セシメテ、之ヲ乾燥收得スル。

**形態** イヅレモ光澤アル純白色ノ粉末デ、無味無臭、熱湯以外ニハ溶解スル事ナク、温ムル時ハ湯ノ相當量ヲ吸收シテ、自己細胞ヲ破リ膨張シテ、半透明映膠様ノ塊トナル、之ヲ澱粉糊ト云フノデアアル。

**特質** トシテハ、沃度ニ逢フテ藍色ヲ呈スルモノデ、此點ヲ利用シテ化學試薬トシテ、沃度ノ存否ヲ試験シ、又沃度ニヨツテ澱粉ノ存否ヲ試験シ得ル。

**澱粉ハ、各種其細胞形ヲ異ニスルモノニテ、主ナルモノハ左ノ如キ形態ヲモツ。**

**A、カタクリ澱粉ハ其細胞型ハ卵圓顆粒形ニシテ、細胞皮面ニ薄キ數條ノ紋理(ウスイ線)ヲ現シ、其細胞ノ卵形ノ細狭部ニ小孔ヲ有ス。**

**B、馬鈴薯澱粉ハ、貝殼型又ハ梨子形ノ巨大ナル顆粒(顯微鏡下ニ於テ他ノ數倍大)形デ**



外心性ノ紋條ヲ細胞皮面ニ持ツテ居ル。

C、葛澱粉ハ、其細胞型有角性ノ顆粒デアアル。熱ヲ加ヘテ糊狀ニスルモノハ別トシテ、生  
ノマ、用ヒラレル時ハ、コノ細胞ガ一番微細デアアル。

以上ニヨル細胞ノ大小ハ、直接他品トノ結合及ビ覆被力ニ至大ナ關係アルモノデアアル。

用途 化粧品ニハ常ニ用ヒラレテ、藥品ノ刺戟緩和ノ爲メ、タルカン、汗知ラズ、粉白  
粉等ニ加味サレル。

特ニ粉白粉ニハ糯米ノ澱粉、我國ニ於ケル白玉粉トホ、類性ナル、佛國製ノアマドンバ  
ウダーガ原料トシテ加味サレルガ、白玉粉ニテ充分代用セラル、モノト信ズ。ツマリハ細  
胞ノ微細ト附着力ノ強キトヲ利用スルノデアアル。

尙ホ、普通化粧品ノミナラズ、對應症化粧品ニモ常ニ使用セラル。

## 二、天 花 粉 (天瓜粉)

製法 黃烏瓜、王瓜ノ根ヨリ得ラル、一種ノ澱粉デ、皮膚ニ生ズル汗モニハ特効ヲモツ  
モノナレドモ、一般普通ニ天瓜粉トシテ販賣セラル、モノハ、唯ノ烏瓜根又ハ葛根ノ澱粉  
ヲ再製加工セルモノガ多イ。

形態 色ハ白ク微細分子ノ粉末ニシテ、相當高價ナモノデアアル。

用途 汗知ラズニ加ヘテ、特ニ小兒ノ汗疹ニ效果的デアアル爲メ、汗知ラズノ別名ヲナス  
程デアアル。黃烏瓜、烏瓜、王瓜ノ果實ヲ其マ、アルコールニ漬ケテ置テ、之ヲ凍傷ニ塗  
リテモ特効アル程デアアル。之ハ其果實ガ含有スル特種グリセロイドノ効果ニシテ、此特種  
澱粉ノ効果ト共ニ研究ノ餘地アルモノデアアル。

## 三、トラカガンタゴム

製法 小亞細亞、中央アルメニア地方ニ生存スル荳科ノ植物デアアル、アストラガルス樹  
ト稱スル灌木ノ、ゴム醬ニシテ、主トシテ、バグダッドヨリ輸出セラレテ居ル。

形態 一般ニ純粹品トシテ販賣セラル、モノニハ、馬爪屑ノ如キ、ヤ、淡黃透明ノ片狀  
ヲナセルモノ最良品ニシテ、粉末トシテ販賣セラル、モノ、價格ハ廉ナレドモ不純物多シ  
購入ニ特ニ注意ヲ要スル。

用途 粉狀ノモノハ其マ、片狀ノモノハグリセリンヲ加ヘテ搗碎シ、之ニ微温湯ヲ加  
ヘテ粘醬トナシ、水クリームノ主原料トナス。

## 四、アルモンド (扁桃油及扁桃仁)

製法 扁桃ニハ、苦扁桃ト甘扁桃トアツテ、イズレモ扁桃油ヲ得可ク、種子中ノ仁ヲ粉  
碎シテ壓搾ナシ、之ヲ濾過シテ、一・二週間密封セル壺ノ内ニ沈靜セシムル時ハ、粘液、膠

質等沈下シテ、透明薄黄色ノ油ガ浮キ出ル、尙ホソノ油ヲシボツタ糟ハ之ヲ乾燥シテ、椿ノ糟ト同ジク蛋の質ニ富ミ洗粉トナル。

扁桃ニハ甘扁桃ニ苦扁桃アリテ甘扁桃ノ仁ハ大キク、前者ヨリ三・五位、後者ヨリ四・五バーセント位ノ出油ヲ見ル。

形態 佳快ナル、輕キ無臭ニ近キ薄黄色ノ油ニシテ、不乾性デアル。無水アルコールニハ溶解シ、加熱スルト溶解度ヲ増ス。

尙ホ甘扁桃ハ子被ヲ去ツテ水白ニヒキテ、乳液ヲ得ラレルガ、腐敗スル事多ケレバ、一般ニハ油ヨリ製出スル方安全デアル。

用途 乳劑ノ主原料ニシテ、其有スルアルデハイドガ人體皮膚養攝ニ特効アルニヨリ近時流行ノ如ク賞用セラレテ居ル。クリームニモ加入セラレテ盛ンニ用ヒラレテ居ル。香料店、化粧品原料店ニ於テ、原油一ポンド(五百瓦入)三圓——六圓ニテ販賣セラレテ居ル美髮油ニモ加味セラレテ、効果多キモ價高ク使用ハ困難デアル。扁桃中、扁桃仁ニテ特ニ區別シテアルノヲ求ムル時ハ、苦扁桃ヨリ甘扁桃ノ方化粧品原料トシテハ良カラシ。何故ナラバ、苦扁桃ハ其仁中ニ幾分ノ青酸ノ作用ヲ有スルガ故デアル。

現今、醫學ニ於テ、ホルモンノ如ク化粧品ニ於テ、アルモンドハ流行ノ頂點デアル。

### 五、ゼラチン及ヒベクチン

製法 ゼラチンハ動物膠ニシテ、馬ヨリ多ク製出セラレ、ベクチンハ植物膠ニシテ、成熟セル新鮮果實中ニ含有セラレル、ゼリー製造ノ際ニ得ラレル。

形態 透明光澤アル紙型ニテ販賣セラレル、化粧品ニ使用スルモノハ、可及的純粹ノモノヲ撰ブヲ要シ、食用ノモノト同一ニ考ヘ購入スルヲヨシトス。

用途 バンドリン、其他ニモ用ヒラレ、化粧水、白粉等ニ加ヘテ、粘着性ヲ増スト共ニ皮膚角質等ノ荒敗ヲフセグ効アリ。魚膠ハ鱈鮫ノ浮囊カラ得ルガ化粧品ニハ用ナシ。

### 六、ヘプトリン

製法 煮沸セル卵白ヲ水一五〇分、鹽酸一分ヲ含ム液體ノ四十度熱温中ニ置キテ、之ヲ純ペプシン(蛋白質消化液)ヲ注加シ、ヨク攪拌シテ消化溶解ヲナサシメ、全液ガ透明トナリ液解ヲ了セル時、之ヲ中和セシメ、水分ヲ蒸發結成サセテ得ラレル。

形態 可溶性蛋白質ニシテ、水ニヨク溶解シ、動物性ノ皮膜ヲ滲透通過シ、熱ニモ、又酸ニモ凝固スル事ガナイ。

用途 其滲透性ヲ利用シテ、皮膚滲透ニヨル、營養々攝劑トシテ、化粧品ニ加ヘテ、特効アルモノデアル。

### 八、蜜

**製法** 蜜ニハ糖蜜及ビ蜂蜜有リテ、糖蜜ハ白糖製造ノ副産物デアリ、蜂蜜ハ蜜蜂ノ蜜ヲ採集シテ精製シ得ラレル。

**形態** 蜂蜜ハ好快ナル香氣アリ、甘味強ク粘糊狀ニシテ、外見ハヤ、白濁セルツヤ、カナル粘液デアツテ、透射光ニハ澄明ニサヘ見ヘ黄褐色ノ薄キ色ヲモツ。近來其需要大キニ從ツテ、白糖ヲ原料トシテ巧ミニ擬造セラレタルモノ多ク市上ニ販賣セラレ、純粹ノモノ少ナキガ故ニ、其購入ニ最モ注意スルヲ要スル。

**用途** 皮膜ヲ柔軟ニスル事、グリセリンノ如ク、グリセリンニ代用セラレル、尙ホ又糖蜜ハ色ヲ白クスル特種ノ作用アル事發見セラレ、近時洗粉ノ如クニ用ヒラレテ居ルガ、未ダ充分ナル研究ガ遂ゲラレタルニアラズ。

普通クリーム等ニ、グリセリント並用シテ、特ニ戰時等ニテ、グリセリンノ暴騰セル場合ニ處スルニ可ナリト云ヒ得ル。

### 講師

前五十公野製肥  
會社技師長  
平保研究所主

平田 萬壽保

## 第四講座 香料概論

化粧品製造化學研究學會編

# 第四講座 香料概論目次

- 第一章 香ノ概念
- 第二章 香料ノ歴史概論
- 第三章 香ノ心理分類ト本能
- 第四章 香ノ特性ト其應用
  - 第一項 香ノ變化性
  - 第二項 強力ナル殺菌性
  - 第三項 香ノ刺激性
  - 第四項 香料ノ有機素溶含性
- 第五章 天産香料ト經濟問題
- 第六章 天産香料採取製造法

第四講座 香料概論科



諸君ニヨツテ本講座ヲ通覽シテ、香料トハ何ンナモノガ何ンナニシテ出來、何ンナモノデア  
アルカト云フ概念的認識ヲ得ラルレバ満足ノ至リデアアル。

x

x

x

x

x

x

初夏ノ朝マダキ、上野ノ山へ登ツテ、不忍ノ池ヲ見下ス時、朝ノ狹霧ノホノカニ消へ行  
ク池ノ面ニ、美シイ蓮花ノ開ク音、咲キホコル美シイ姿ヲ見、且ツ聞クヨリモ先キニ明狀  
シ得ナイ程ノ花ノ香ニムセンデ、吾レ知ラズ蘇ガヘレル如キ感ジニ醒メルデアロウ。

其感ジハ何ンデアアルカ？ 之ガ香素ノ或ル結合ニヨツテ出來タ蓮花ノ香りノ幾分子ガ風  
ニ送ラレテ、吾人ノ鼻腔粘膜ニ附着シタ事デアアル。

今一ツ例ヲ上グルナラバ、吾人ノ家庭へ肥上ゲガ來テ汲ミ取ツテ行ク場合、ドンナニ四  
方ノ戸閉リヲシテモ座中へ惡臭紛々トシテ絶エ難イ惡感ヲ受ケル。

其感ジハ何ンデアアルカ？ 之ハ人糞ノ腐敗ニ生ジタ香素ノ或ル結合ニヨル臭氣ガ、吾人  
ノ鼻ヲ通ジテ、腦中樞ニ達シタ事ヲ意味スル。

斯クノ如ク、香りハ吾人ノ日常ニ一時モ度外スル事ノ出來ナイ、人生生存ニハ離ル可カ  
ラザルモノデアアル。

## 第二章 香料ノ歴史概念

前述ノ如ク人生ト深キ關係ヲ有スル香料ハ、惡臭ヲ征服ス可ク太古ヨリ用ヒラレテ來タ  
惡臭ヲ去ル意味、ツマリ防腐關係デハ、實ニ有史以前カラ既ニ埃及人ハ桂皮油、丁子油ヲ  
採ツテ、貴人ノ遺骸ニ塗ツテ、其清淨ト保存ノ用ニ供シタ。羅馬、希臘ノ貴人ガ種々ノ香  
ヒ草ヲツンデ、其浴槽ニ入レシメタ事ヤ、其例ガ多ク殘サレテ居ル。

尙ホ、太古ノ人類ガ草根木皮ヲ唯一ノ醫藥トナシ、之ニ伴フ香りニ對シテ特ニ神ニ對ス  
ル如キ畏敬ノ念ヲ拂フタモノデアアル。此觀念ハヤガテ宗教ノ創立ト共ニ、香ヲ薰ジテ、神  
前ニヌカヅキ天地神明ニ祈リヲ捧グル如キ、タゞヨヘル芳香ノ中ニ身心ノ清淨ヲ感ジ、敬  
虔ノ念ニ打タレルガ如キ、始メテ有意識的ニ香料使用ノ源ヲナシテ居ル。

人智ノ發達セザル時代ノ事ナレバ、自然、天然香料ニヨルノ外ナク、又其天然香料トテ  
モ採取ノ方法ヲ知ルモノ少ナク、從ツテ非常ノ高價ヲトナヘラレテ居タ。一方ニ當時未開  
ノ時代ノ事ナレバ人間五官ノ本能慾ヲ満足セシムル種々ノモノヲ知ラズ、ヒタムキニ鼻感  
ノ快ヲムサボリ、香ノ世界ニワクデキシテ、芳香ニ酔ヒシレテ居タ結果ハタチマチニシテ  
其不足ヲ感ズルト共ニ更ニヨリヨキ香ヲ夢ミ、獵奇的ニ流レテ、或ハ未知ノ世界デアツタ

東洋ニ香料ヲ求メテ、數隻ノ船ヲ造リテ家臣ヲ乗セ以テ、此未知ノ寶庫ニ遠征セシメテ、麝香ノ數疋ヲ得テ官能ノ満足ニアテル等、香料ノ使用ハ貴族ノ專用トナツテ一般ノモノデハナクナリ、骨董品ノ如ク高ク尊イモノトシテ、一般庶民階級カラハ敬遠セラレ、ヤガテハ苛酷ナル徵稅ノ因ヲナスモノトシテ嫌忌セラレ、ニ至ツタ。一部貴族ハ彼等ノ特權ノ如ク心得、ハテハ亂用トナリ邪用トナリ、遂ニ淫逸ノ具トナリ、自ラヲ亡スニ至ツタノデアル。カクテ貴族政治ノ破綻トナリ、庶民政治ノ第一聲ハ國法ヲ以テ香料ノ醫藥外使用ヲ禁止スルガ如キ有様トナツタ。或ル國王ノ如キ香ノ世界ニ一國ノ財ヲカタムケ、或ル女王ノ如キ全身ニ香料ヲヌツテ自ラ死ヲ招イタ様ナ例モアツタ。

斯クテ、最近世ニ至ルマデハ、神佛ニ僅カニ用ヒラル、ノ外ハ一般カラ恐レラレ、ソノマ、何等ノ發達モナク、人間ノ臭味ト共ニ忘レラル、ニ至ツタノデアル。

我國ニ於テモ、中世武家貴人ノタシナミトシテ、茶道、華道ノ發達ト共ニ香道ガ興リ、香合セ等ノ藝術的遊戯ハ豊臣全盛期ヨリ始マリ、徳川氏ノ元祿ハナヤカナリシ頃ニ最モ發達ヲ見、連歌ノツドヒ等ニハ必ズ行ハレタノデアツタ。ソシテ香ヲ薰ズル事ハ貴人、客人ニ對スル敬意トシテ珍重サレ、早クヨリ神佛ニサ、グルモノト相マツテ、線香、香錠ノ如キ製品サヘ見タノデアル。

而シ之レトテモ、西洋諸國ノ如ク、特權階級ノ嗜好デアツテ、大宮人、武家以上ノモノノ獨專デアツテ、農工商庶民ノモノデハナカツタ。又國産ノ天然芳香少ナク丁香花ガ僅カニ廣ク用ヒラレ(丁香風呂ノ如キ)タ外ハ、支那印度ヨリ渡來セル爲メニ相等高價ナモノデ一般士民ニハ使用ニタヘナカツタノデアル。

唯、我國ニ於テハ、ヨク其國民性ト相マツテ、心ヲ沈メ、清楚高尚ナルタシナミトシテ神佛ニ供シ、香道起リ、香合セ等ト共ニ早クヨリ藝術的發達ニ向ヒ、武士ガ兜ニ香ヲタキ込メテ戰場ニ向フ等、實ニ靜的悟道ノ友トシテ、精神的ニ高潔ニ用ヒラレタ事ハ、誠ニ我が日本精神「大和魂」ト共ニ他ニ類例ヲ見ザル大キナホコリデアル。

以上ノ如ク一般庶民の愛用ヲ得ナカツタ事ガ、東西共ニ香料ノ發達ヲ遅カラシメタ。然ルニ近年科學ノ進歩、交通ノ發達ニ源シ、文化的諸物ノ開發ニウナガサレテ、必然ナル人間五官ノ欲求ハ急進的發達ヲナサシメツ、アルノデアル。ヨリヨク生キントスル人間文化ノ要求ハ、天産香料ノ高價ニ満足セズ、遂ニ有機電解化學ノ確立ト共ニ、人造合成ノ香料ヲ以テ、天産香料ニ代用シ得ルノ域マデ進ミ、別ニ一科ヲナシテ研究サル、ニ至ツタノデアル。

實ニ他ノ諸化學ニオクレテ居ルダケ、新シイ研究ノ數々ガ得ラル、ノデアル。

### 第三章 香ノ心理分類ト本能

六

人ガ一度、美シイローズノ花ヲ見テ、其芳香ニ酔フタ時、之ヲ愛慕スル連想觀念ハ、座中ニ幻ノ如ク戀慕ノ姿ヲ想ヒ浮ベ、之ヲ求メテヤマナイ。ソシテ其美シキ姿、麗ハシキ色ト共ニ、一度カギ得タ其芳香ト同ジ香ニ連々トシテ引キツケラレル。之ハ人間本能ノ欲求ナリト斷ズル事ガ出來ヨウ。

斯ク本能ノ欲求ハ、連想觀念ニヨツテ、其人ニ好キト嫌ヒノ感ジヲ匂ヒニ持タセルモノデアル。

例ヘバ、吾人ガ鰻屋ノ前ヲ通ルト非常ニヨイ匂リヲ感ズルモノデ、將ニ空腹時ニハ其香ガ味覺神經ヲマデ刺戟シテ、ヨダレヲ催ホス程デアアル。斯クノ如キハ嘗テ鰻ヲ食シタ時ノ美味ノ連想ガ味ト嗅感トヲ一ツニシテ、嗜好トシテノ本能慾ヲソ、ルモノトモ云ヒ得ル。又同ジ其香モ、鰻ノ嫌ヒナ人ニハ惡臭デアラウ。

昆虫ガ二里三里ノ外ニ、花ノ香ヲアサツテ、之ニ集ルノモ同一本能デアラウ。即チ其花底ニ藏セラル、甘キ蜜ノ味覺ノ連想デハ無イデアラウカ。又花其モノニ付テ云フナラバ、芳香ヲ以テ昆虫ヲサソイ、爲メニ花粉ノ媒介ヲ得テ、受精結實セントスル造化ノ生殖妙デア

アル。斯ク見來ル時ハ、總テヲ本能ニ歸着セシムルヲ得ル。ソシテ連想ハ吾人ヲシテ香氣ヲ愛スルニ至ラシムルノデアアル。

吾人一般人類男女長幼共ニ好ムハ花ノ匂リデアアル。昔ヨリ東西ノ別ナク詩歌文章ニ綴ラレテ愛好ヲオシマス。從ツテ香精ノ調合ヲナスモノハ、先ヅ一般ニ天然ノ花香ヲ模倣シ、或ハ之ニ類シタ趣向の花朶ノ香氣ヲ造ラナケレバナラナイ。

香ハ、以上ノ如ク人生トハナル可カラザルモノデアツテ、吾人ハ日常ノ生活ニ總テノモノ、香ヲ、自分ノ經驗ニヨル記憶連想デ表現スルモノデアツテ、其表現ニ何カ代表的ナ統一的ナ名ヲカリテ、香ノ種類ヲ別ツテ、感ジヲ云ヒ現ハサウトスル。

而シ、次ノ第四章ニ香ノ特性トシテ述ブル如ク、香リヲ感ズルノハ、香リノモツ連續的ナ微妙複雑ナ香波(音波ニ比シテ敢テ云フ)ノ變化ノ記錄ニヨルモノデアアルカラ、アダカモ、ラジオノ電波ヲ受信シテ、音トシテ感ズルト一體デアツテ、其一ツノ匂リハ幾ツモノ香ノ變化デアアルカラ、代表的ナ一ツノ感ジヲ種類トシテ現ハス事ハ誠ニ無理デアリ、主觀的デアリ、非科學的ナモノデアアルガ、一般ニ昔カラ云ヒ現ハサレテ居ル事デアリ、又表現上モ便利デアアルカラ、次ニ記載シテ置ク。

人間ノ經驗心理カラ表現サレタ、匂リノ代表語ハ人々ニヨツテ、香ニ對スル感覺ニ多少



ノ差ヲモチ、從ツテ、表現ニモ多少ノ差ハ認メラル、ガ大體ニ一様ト云ヒ得ル、我國ニテハ、貝原益軒ニヨツテ、次ノ様ニ分類サレテ居ル。

- 一、芳 香 (かぐわし)
- 二、羶 臭 (くさし)
- 三、焦 臭 (こげくさし)
- 四、腥 (なまくさし)
- 五、朽 (くされくさし)

尙ホ、西洋ニ於テハ、ツワードル氏ハ次ノ九ツニ匂リヲ分類表現シテ居ルガ、之ハ今日ノ吾々ノ心理表現ニホ、近イ感ジガスル。

- 一、Aromatic (樟腦ノ如キ強イ芳香)
- 二、Ethereal (成熟セル果實等ノ匂リ)
- 三、Fragrant (花等ノ複郁タル芳香)
- 四、Ambrosial (麝香等ノ魅惑的ナ魔醉性ナ芳香)
- 五、Alliasial (葱ヤ大蒜ノ如キ刺戟的ナ香)
- 六、Goat (動物ノ體臭)

七、Empyreumatic (焦ゲ臭イ匂リ)

八、Repulsive (植物性ナス、シゲナ香リ)

九、Petid (化膿腐敗ノ惡臭)

之ニ、ヘンニング氏ハ更ニ

十、Spicy odour (藥リ臭イ匂リ)

ヲ加ヘテ、此ノ十種香ノ種類ヲ、プリズム體ニシテ、分類説明ヲシテ居ル。

サテ、香リニ對スル人類一般ノ固有ナル嗜好本能ハ、例ヘテ見ルナラバ、丁度京ノ舞妓ノ派手ナ友禪ノ色彩ト繊細ナ模様ヘ、江戸子ノ銳角のナスルドサヲ加味シタ様ナ、即チフレーグランドトナ花香ニアローマチツクヲ加味シタ男性向キノ香リト、歌麿ノ畫ニ見ル様ナ色情肉感的ナ刺戟ニ魔醉的ナ誘導性ヲ加味シタ様ナ、フレীগランドトナ花香ニアンプロシアルヲ加味シタ女性向キノ香リトニアルト思フ。

調合者ハコ、ニ留意シテ、努力創製スベキデアル。尙ホ現代ノ日本人ハ西洋化シテ、スベテ濃艶ニナツテ來タトハ云ヘ、藝術的ナ精神のナ國民トシテ、靜的ナ清楚ナ香リヲ心靜カニタ、ヨワシテ、其中ニ大悟ヲ得、敬神ヲ念ジ來ツタ永キ時代ノ習性ヲ未ダニステナイ向キガアルカラ、唯徒ラニ西歐ノ模倣ヲノミ事トセズ、特ニ日本特有ノ固有ノ美点ヲドコ

マデモ發揮シテ行ク様ニ心掛ケ、鼻感覺ヲ通ジテ、日本人固有ノ美シキ國民性ヲ再起發揮セシムル香料報國ノ大決意ヲ調合者ニ強要スルモノデアアル。

端的ニ云フナラバ、フーゼアノ香ヲ男性ノ代表ト見、フリージアノ香ヲ大和撫子ノ代表トスルヲ得ルデアラウ。

**香ト生殖本能** 香ハ又生殖本能ノ誘導デアルト云ヒ得ル。植物、動物、人間ニ於ケル思春期ヲ檢ミスルニ、先ヅ植物ハ開花ニヨツテ生殖スルモノデ、其芳臭ハサテ置キ、何レノ花モ必ズ一種ノ香ヲ放ツテ居ル。更ニ之レヲ動物ニ見ルノ時ハ、何レモ思春期ニハ互ニ戀情ヲ唆ル兩性相互ニ體臭ヲ放ツテ、嗅覺本能ヲ通ジテ、相互ノ戀情ト性慾ヲ興奮サセルノデアアル。極端ニ云ヘバ動物ガ交尾セントスルニ先達ツテ、必ズ鼻ヲ以テ、極限マデ、互ニ嗅ギマワツテ、一種ノ戀愛生活ヲ實現シテ居ルノヲ見ルデハナイカ。人間ニ於テモ、五官ノ内嗅覺ガ如何ニ秘メラレテモ、男女相互ニ美シイト見、慕シイト感ジ、相戀慕シ、或ハ手ヲニギリ合ツテサ、ヤキヲカワスニ先立ツテ、第一ニ互ノ戀情ト性慾ヲ誘導セラル、モノハ、其思春期ノ男女相互ノ體臭デアアル。

實ニ香ハ、吾人ノ生殖本能ヲ刺戟誘導スル事、將ニホルモンノ如キモノデアルトサヘ見ラル、ノデアアル。

今多クノ香料ニ付テ見ルニ、花ノ香ノ總テ、又アンブレットハ眞甲鯨ノ精液デアリ、麝香ハ麝香猫ノ子宮液デアアル。

實ニ香ヒハ、子孫繁榮ノ有力絶大ナル媒介ニテ、貴重コノ上ナキ天與ノ寶デアアルデハナイカ。尙ホ體臭ニ關シテ驚クベキ説ヲナシテ居ルノハ、スコットランドノ心理學者ケンネス博士デアアル。彼ハ人間感情ノ衝戟ガ體臭デアアルデアツテ、人體ノ其時其時ノ心理ノ變化ハ、其時其時ノ體臭ヲ色々ニ換ヘル。從ツテ、崇高ナル觀念、徹底セル信念アル人ハ、實ニ佳尊ナル香ヒヲ放ツ、「聖者ノ此ノ尊イ體臭ヲカンバヌノ上ニ畫家ガ描キ出セルモノガ菩薩ヤ、マリヤノ脊光デアアル」トサヘ極言シテ居ル。

之ヲ逆ニ考察シテ行ク時、香料ノ使命ハ偉大デアリ、香水調合者ハ單ニ舊習ニノミ捕ラハレテ、花香ノ模倣ニ満足シテ居ラレナイノデアアル。

艷麗ナラントスル婦人ガ濃艶ナル芳香ヲ愛シ、敬虔ナル神ヲ祭ル時之ニ同化セントシテ佳香ヲ薫ズル事ガ解セラレ、從ツテ、崇高ナル佳香ハ只單ニ外装ノ一助ニ止ラズ、其人ヲシテ、自カラ其心理マデ聖尊ニ導クモノト云ヒ得ルノデアアル。

又若キ男女ノ清淨ナル精神的戀愛ニソナヘル香水、結婚初夜ノ床ノ邊ニ用フ可キ香水、哲學者ガ高遠ナル眞理ヲ迷想スル時ニ用フベキ香水ト云フ様ニ、香水モ其使用効果ニヨッ

テ製造サレ、香水ハ將ニ人類發展ノ誘導體ト認メラル、ノ時ノ來ランコトヲ希フ。  
前述ノ如ク、香料ト人間本能ノ關係ガ至大ナル關係ヲモチ、人間ノ體臭ガ生殖本能ノ刺戟誘導體デアルトスレバ、香料ハ偉大ナル働キヲ生物ニ及ボスモノトシテ、之ヲ深ク研究スルノ時ハ、神經線刺戟ノ問題、内分泌促進及ビ抑止ノ問題、香素ノ電原子ト體素ノ電原子トノ研究等、實ニ面白イ問題ガ殘サレテ居リ、最極ニ於テ、香水ヲ以テ、生物ノ一切ハ解決サレルカモシレヌ。

講師

東京農業大學教授  
農學博士

石坂橘樹

第五講座 天然及人造香料解説

化粧品製造化學研究學會編

# 第五講座 天然及人造香料解說 目次

## 第一章 天然香料解說

第一項 芳香用香料各解說

A 芳香性植物

B 芳香性動物

第二項 藥性香料各解說

第三項 合成香料原料香及工業用香料

## 第二章 化學人造香料解說

第一項 香素體製品

第二項 模倣製品

第三項 純正化學製品

## 第一章 天然香料解説

### 第一項 芳香用ノ香料

〔A〕 芳香性植物

#### 一、アカシア花油

我國台灣島、其他世界一般ニ廣ク培養セラレ、市街ノ並木ニ植林セラル、モノ多ク、白ク小サキ花ヲ無數ニ開キ、輕キ爽快ナル佳香、恰カモスミレノ花ノ香ヲ思ハセル。香素ハイオノーン系ニ屬シ、尙ホ其葉ハ強キ同型ノ芳香ヲ持チ、浸出法ニヨツテ香料ヲ製出サレル。花香香水ノ製造ニナクテハナラヌ品デアル。

#### 二、安息香脂

安息香ナル樹物ノ樹脂ニシテ、スマトラ、ジャバ地方ニ天産シ、樹皮ニ破傷ヲ加へ、恰カモ、ゴムヲ探ル如キ方法ニテ、採集結凝セシメテ得ラル。

薰芳佳味アル、カルキ芳香ヲモチ、現今ハ化學的ニ分解抽出ニヨツテ、瓦斯製造ノ複産物トルオールヨリ製出セラレ、馬糞尿中ニモ多ク含有シ、唯單ニ芳香劑ト云フヨリモ、防

腐劑トシテ化粧品ニ加ヘラレ、化粧水、ベラームニ用ヒラル、外、ソノ香脂ハチツク及ビ美髮料ニ加味セラル、藥料トシテハ肺病患者ニ用ヒラレル。

### 三、ア ニ ス

露西亞ニ多産シ、元來ハ支那ニ原生セルモノニテ、種子ヨリ採油セラレル。淡黄無色ニ近ク、寒氣ノ節、及ビ空氣中ニ放置スレバ凝結スル。甘イ醉フ如キ香ニテ、ヤ、ナマクサキ臭感アルモ、廉價ナルト、種々花香ニ少量ヲ加ヘテ、甘味ト麻醉的ナ感ジヲ與ヘルニヨリ用ヒラルル。

### 四、イリス根

北印度地方、モロッコ地方ニ多ク産シ、イスバニア其他ニ栽培セラレ、其莖根恰カモダリヤ花ノ芋根ノ細ク少サキモノ、如キ形狀ニシテ、生ノマ、ヨリ採リタルエツセンスハ其香強臭ナルモ、充分ニ乾燥枯死セルモノヨリハ實ニ麝香ヲ薄メテ花芳ヲ加ヘタ様ナ、薰郁タル芳香ヲ得ラレル。ラベンダー油ニ一寸似タル点モアレドモ、カノ強刺激性ノ惡臭ヲトモナハズ、一般ニ高尚ナル香料配合ノ土台トシテ、其少量ヲ加味セラレル。

乾根ソノマ、ヲヤゲンニオロシテ、齒磨ヤ匂袋ニ用ヒテ最モ効果的デアル。

### 五、イランイラン

一名カナンガ、オドラタアト稱シ、我が台灣島、シヤム、ヒリツピン諸島ニ産スル喬木デ、瓜型ノ花ヲ開キ、實ニ高尚ニシテ、ローズトジャスミンヲ合セテ更ニ麻醉的ニ濃艶ニシタ様ナ云フ可カラザル佳薰ヲ發スルガ、天然物ノ花瓣ヨリ採取シタモノハ、一オンス百五六十圓台ノモノニテ、現今一般ニアルモノハ、其模倣品カ、又ハ化學合成ノ調合物デアツテ、香水ニハアマリニ濃艶ニ過ギテ美妙ヲカキ、ムシロ高級化粧品ノ着香ニ配合シテ、實ニ絶讚的ノモノデアル。

### 六、カヤブテ葉

「メラルイカ、ルイカデンドルシ」ト稱スル原名ニテ、亞細亞ノ南部地方ニ産シ、其葉枝ヲキザミ、水ニ混ジテ解キ、シボリ出シタルモノヨリ蒸餾法ニテ採取セル揮發油ニシテ龍腦ニ類セル上品ナ竄透性ノ香氣ト澄薰タル佳芳トヲ合セ持ツ。

七、カスカリラ皮

「コートン、エンテリア」ナル原名ニテ、南米ジャマイカ地方、西印度諸島ニ天産シ、大戟科ニ屬スル灌木デ、其皮厚ク肉桂皮ノ如クニ龜裂ノアル層皮ヲナシテ居リ、芳純ナル薫香ヲ持ツ。

八、カビ

花香愛ス可ク、近來非常ナル流行ヲナシ、複雑ニシテ薫郁陶然タル芳香ヲ有シ、ヤ、魔醉的デ甘ヤカナル内ニ、一種犯ス可カラザル、決定的ノ氣風ヲ保ツ。天産ナク、多ク合成調合ニヨルモノ用ヒラレ、合成調合香料中高價ニ屬スルモ、香強ク且ツ持續性多ク、十バ一セント位ノモノニテ、ヨク強香水タルニ恥ヂズ。

九、長壽草 (キズキセン)

佛蘭西ニ多産シ、ジャスミンニ似テ、ヤ、軟カキ佳爽ナル花香ヲモチ、香料トシテハ、代用人造調合ノモノ多シ。

ギヤメムベ

5.05

チトノローヌ

5.05

スルガモツ

1.05

フニラ

7.05

ノルネイロベ

1.05

十、クロモジ油

我國及ビ支那ノ山間林野ニ天産混生シ、台灣産クロモジ油ハ特ニ芳香強ク、良品デアル東洋的薫香ニシテ、線香等ニ加ヘ用ヒラル。天産多ク價廉シ。極メテ廉價ナル香油ノ着香料トシテ珍重セラル。

十一、ゲラニウム (ゼラニウム)

香原ゼラニオールヲ多分ニ含有スル、南米アルゼリア地方ニ天産スル植物、原名「ペラルゴニウム、オトラテシムーン」ノ樹ノ技葉ヨリ採取スルモノニテ、既ニ滿開ノ花期ヲ終リ、成熟ヤ、黄バミタル程ノ葉ヲ採リ、水蒸氣ヲ通ジテ、蒸餾法ニヨツテ得ラル。ローズニ似テ更ニ濃厚薫飽ナル甘カラキ香ヲ持ツ。安價ナル人造ローズ香料ノ主原料デアル。

### 十二、ジャスミン

佛國カンネス地方ニ最モ多ク培養セラレ、二季ニ吸收法ニヨツテ、花香揮發油ヲ採取セラレ、強キ複郁タル香ヲ持チ、ジャスメノール香元デアアル。天産ノモノハ爽佳艶濃ナル芳香ナレドモ、天然物ハ其産出額少ク貴重セラレ、一オンス實ニ二三百圓ト云フヲ得ン。人造調合ノ類似品ガ一般ニ販出セラレテ居ル。近時我國ニ於テハ化學合成ヲ完成セラレ、樟腦油採取ノ廢棄物中ヨリ化學的ニ抽出セル香素ヲ以テ、天然植物ニ於ケル自然反應ニ似タル過程ニ於テ、合成調合ヨリ天産類似ノジャスミン香ヲ製出販賣セラレ、一オンス僅カニ一・二圓ニテ、充分香水調合ニ使用シ得ルノミナラズ、化粧品ノ着香ニ、ローズニジャスミン一ノ割合ニテ着香スル時ハ、面白キ萬人向キノ芳ヒトナリ多ク用ヒラレテ居ル。

### 十三、シトロネラ及山椒油

山椒ハ我國ノ特産ニシテ、其油出量多ク、價廉ナルモ、香水用ニハ其香不向キデアアル。シトロネラハ我が山椒ニヨク類似セル香ニシテ、ヤ、花葬的ノ香ヲモ合セ持ツト云ヘル。東印度及ビ錫蘭島地方ニ培養セラレ、近年我が臺灣ニモ培養セラレテ居ル。一年ニ一・三回カリ採ツテ製成サレルオカルカヤニ似タルモノニテ、俗ニ香ヒカヤト稱シテ培養中デアアル。

### 十四、紫丁香花

日本ニテハ紫ハシドイト稱シテ、西洋ニテハ庭園用ニ培養サレ、佳快清楚タル草、梅花ニ似テ、ヤ、麻醉性ノ氣品ノ高イ實ニヨイ香氣ヲ持ツ、吸收法ニヨリ脂肪中ニ吸收セシメテ、更ニアルコールニ浸出シテエツセンストナス。

### 十五、スキート、ビー

園藝用觀賞花草ニシテ愛スベキ花デアアル。デリケートナ佳香、文化的ナ匂リデアアル。直接香料ヲ採取セルモノナク、左ノ如キ代製品ガ販賣セラレテ居ル。

人造ホフイトローズ	5・0g
フニラン	3・0g
ベルガモット	0・5g
チユベローズ	1・0g
ハイプロオキシシトロネラル	5・0g
サイクラメン	0・5g



十六、セングダン

「セングダンハ双葉ニシテ芳シ」ト古來語ラル、樹ニシテ、我國ニ於テハ台湾ニ天産シ、支那南部ニ多産スル。三・四月ノ頃ニ薄紫ノ花ヲ開ク。ユーゼノール香原ヲ主體トスル芳香デアアル。

十七、接骨木花

本邦ニモ産スレドモ香微弱ニシテ採油ニ適セズ。歐州産ノモノヤ、香氣強ク、心地ヨキ花香ヲ持チ、化粧水、乳劑、コールドクリーム等ノ着香ニハ上品ナ臭ユカシイ香デアアル。

十八、月下香（チユベローズ）

ナズキセント稱スル美シキ花、高尚優雅ナル香ヲ持チ、諸花香水調合ニナクテハナラヌ加味用香料デアアル。

十九、丁香油

我國ニ非常ニ多ク天産シ、山村ニテハ其花ヲ鹽漬ケニシテ、香味料トシテ食シ、又丁香

風呂ト稱シ、昔ヨリ多ク用ヒラレテ來タ。東洋的薰郁タル香ヲ持チ、ベータム、美髮油等ニ加ヘテ、日本人ノ頭髮體臭ト和シテ、惡臭ヲケシ一種ノ薰芳ヲノコシ、現今モ廣ク愛用セラレテ居ル。

二十、橙花油

橙皮油ト共ニ愛用セラレ、花ヨリ得タルモノハ特ニ芳香ト云ハル。クリームニ主用セラレル。花油ヲ得ルニハカナリニ新鮮ナル満開期ニ入りタルモノヲ日出前ニツミトリ、之ヲ蒸シテ水蒸氣中ニ導キ冷却セルモノ、上部ニ揮發油トシテ現レル。尙、皮油ハ他ノ橙科植物ノ果實ヨリ採油スルト同様、其果實ノ皮ヲ壓搾シテ採リタルモノヲ靜置シテ、上層ニ揮發油ノ分離セルヲ採ル。

二十一、バイオレット

到ル處ニ培養セラレ、又天生スルモ、小サキ花ニシテ紫色ノ極メテ濃キモノ程ヨキ花芳ラモツ。一般ハ佳香清楚ニシテ、イオノーンヲ香主體トシ、紫色ノコキモノハ其香金木犀ニ類シテ甘ヤカナ芳香デアアル。文學ト相マツテ其花ノ姿可愛ラシキト共ニ連想シテ、人ノ

愛好ヲ受クル匂リデアル。香料トシテハ出量甚ダ少ナク、多クハ人造模似品デアル。

アカシアエッセンス	5・0g
タービネオール	3・0g
イリス根丁糖	2・0g
ハイドロキノンシトロネラール	3・0g
アヒス	0・5g
イオノーン	3・0g
ジャスマノール	1・0g
麝香エッセンス	0・5g
フニリン	3・0g

現今ハ樟腦製出ノ廢棄物カラ得ル、イオノーン香主體へ、他ノ合成調合香料ヲ加ヘテ芳香ヲ得テ居ル。

イオノーン	5・0g
ローズ	2・0g
ジャスミン	1・0g

廿一方ノサイクラメン

3・0g

二十二、ヒヤシンス

英國ノ野ニ多ク、園藝用トシテ我國ニモ多ク鉢植トシテ愛好セラレル。其香ハ、ジャスマントヘレオトロブノ合體ニ菊トローズノ香ヲ加ヘタ様ナ相等ニ強イ薰芳デアル。水溶液トシテ日ヲ經レバ實ニ甘ヤカナル香ヲ出シ複雑美妙愛スベク、化粧品ノ着香ニ適シ、就中、サフランベールラム、水クリーム、及ビフード等ニ着香シテ、比較的ニ少量ニテヨク芳香ヲハナツ。天産品ハ少ナク、人造模倣ノ合成調合ノモノニテ、一オンス一圓台デ得ラレルノデアル。

二十三、サイクラメン

南國ノ四月ヲ飾ル美シク細カキ花ヲ無數ニ開キ、甘味モ澁ミモ共ニ含マレタ濃艶ナル内ニ、又爽快ナル植物性ナヘレオトロビン香原アルト共ニ、動物體臭ノ如キ麝香ノ如キ魔酔性ニ人ヲ恍惚タラシムルモノニテ、近年非常ナル流行トナリ、其香風ガ一般向キデアルタケアラユル着香ニ又香水ニ愛用セラレテ居ル。市場ニアルモノハ多ク天産模倣ノ品カ、或ハ

合成香料デアアルガ、現今香料界ノ第一人者ト云ヒ得ル。

#### 二十四、白 檀 油

東印度及ビ支那南部ニ産シ、東洋ニテハ早クヨリ佛事ニ其木片ヲ燻ジテ禮拜ヲナシ、又佛具ヲ造ツテ貴重セラレ、燻香ニ多ク加味サレ、又香函等ト稱シテ婦人ニ愛用セラレテ居タ。コノ採油ハ粘着性ニシテ、グリセロイド多ク、又樹脂ヲ揮發油ト共ニ含有シテ居ル。従ツテ、香ノ持続性永ク、ローズ香ソノ他ニ其少量ヲ加味シテ、東洋的香趣ヲ現シ、且ツ保留劑トモナリ、香水ヲ上品化スル様デアアル。

#### 二十五、フリージユア

フーゼアト共ニ香水ノ一代表ヲナシ、特ニ其清楚高尚温雅ナル事、我國人ノ魂ニヨク合流スルモノトシテ、愛ス可キ香デアアル、美シキ小型ノ連鎖ノ花ヲ持チ園藝トシテモ、ユカシキ姿デアアル。天産ハアマリニ多カラズ、特ニ皮膜ヲ軟化セシムル特性ヲモツモノナレドモ、現今販賣セラル、ハ總テ人造合成調合品デアアル。フゼアノ清楚ニ比シテ、フリージアハ艶麗ニシテ醉性的ナ香ヲモツ。

### 講師

本會講師 平田 萬壽保

## 第六講座 化粧品及部外品製造法

化粧品製造化學研究學會編

# 第六講座 化粧品及部外品製造法 目次

## 第壹編 化粧品製造法

### 第一章 化粧水類製造法

#### 第一項 透明化粧水製造法

##### 一、普通化粧水製造法

A 酸性化粧水製造法

B アルカリ性化粧水製造法

C 中性化粧水製造法

##### 二、純植物エッセンス化粧水類製造法

【備考】

第一法 パラ水

第二法 ライラック水

第六講座 化粧品及部外品製造法科

- 第三法 コローン水(キヨルン水)
- 第四法 キューカンバア水
- 第五法 レモン水
- 三、グリセリン性化粧水製造法
- 四、漂白性化粧水製造法
- 第二項 不透明(粘着性)化粧液製造法
- 一、乳液類製造法各種
  - A 純植物性乳液製造法
  - B 脂肪性乳液製造法
  - C 石鹼乳液製造法
  - 二、フールド製造法
  - 三、ゼリー製造法
  - 四、水クリーム製造法
  - 五、乳白化粧水製造法
- 其他

## 第二章 クリーム類製造法

- 第一項 無脂肪性クリーム類製造法
- 一、基礎クリーム製造法(パニシングクリーム)
- 二、過酸化クリーム製造法
- 三、レモンクリーム製造法
- 第二項 脂肪性クリーム類製造法
- 一、無水脂肪クリーム類製造法
  - A 白粉下類製造法
  - B 純脂肪ヒマ止メクリーム製造法
- 二、含水脂肪クリーム類製造法
  - A コールドクリーム各種製造法
  - B ハイゼニッククリーム製造法
- 第三項 マッサージ用クリーム類製造法
- 一、無脂肪性マッサージクリーム製造法

第六講座 化粧品及部外品製造法科

目次四

- 二、 脂肪性マツサージクリーム製造法
- 三、 パック類製造法

- A 養攝劑トシテノパック
- B 洗顔料トシテノパック

第四項 クレンジークリーム類製法

- 一、 硬性クレンジークリーム製造法
- 二、 軟性クレンジークリーム製造法

第五項 複合性クリーム類製造法

- 一、 おしろいクリーム類製造法
- 二、 二重作用ヲ持ツ特種クリーム類製造法

第三章 白粉類製造法

- 第一項 煉狀白粉類製造法
- 一、 固煉白粉及ビドーラン類製造法
- 二、 中煉白粉類製造法

第二項 水狀白粉類各種製造法

第三項 粉狀白粉類各種製造法

第四項 タルカン及ビ汗止メ類各種製造法

第四章 諸助料類製造法

第一項 塗唇料製造法

一、 硬質チック狀ベニ類製造法

二、 クリーム狀ベニ類製造法

第二項 塗眉料製造法

一、 チック狀棒眉墨製造法

二、 粉狀眉墨製造法

三、 アイ、シヤドウ類製造法

第三項 塗頬料各種製造法

第四項 其他雜品各種製造法

第六講座 化粧品及部外品製造法科

目次五

## 第貳編 部外品製造法

### 第一章 積極的美化攝養劑製造法

#### 第一項 若返り劑製造法

- 一、ノープル、スキン製造法
- 二、アルモンド製品各種製造法
- 三、ホルモン劑加味製造各種

#### 第二項 美白劑ノ製造法

### 第二章 症害除去劑製造法

#### 第一項 ニキビ取り劑製造法

- 一、水液狀ノモノ
- 二、クリーム狀ノモノ

#### 第二項 ソバカス、シミ除リ劑製造法

### 第三章 諸新考案品製造法公開

## 第壹編 化粧品製造法

### 第一章 化粧水類諸製造法

#### 第一項 透明化粧水製造法

#### 一、普通化粧水製造法

##### A、酸性ノ化粧水

原料	量
薔薇水	1000.0g
硼酸	40.0g
グリセリン	60.0g
ソブトール	10.0g
セラチン	20.0g
アルコール	80.0g
蒸留水	300.0g

製法 蒸留水ニ硼酸ヲ加へ、攪拌シツ、加温(加熱ト云フ時ハ百度以上、加温ト云フ時ハ八十度以下位ニシテ以後、加温、加熱ト云フニヨリ其程度ヲ知ラレタシ)完全ニ溶解シ

タル上、ペプトーン及ビゼラチンヲ加へ、更ニ攪拌シ全部溶解シタル時、薔薇水ヲ注加シ充分ニ混合セシメ、別ニ、アルコール全量ニグリセリンヲ溶解シ置キタルモノヲ前者ヘ注加シ乍ラ攪拌混和セシメ、約一晝夜位之ヲ静置シ、充分ニ透明化シタル上、其上皮ト沈澱ノ入ラザル様ニ静カニ「サイホン」ニテ汲取り、厚ク密ナル海軍羅紗（或ハメルトン）ニテ濾過シ、直チニ瓶詰メ密封スル。

但シ、更ニ種々ノ芳香ヲ加ヘントスルモノハ、後述ノ薔薇水（芳香水）製造法ノ處ヲ熟讀シ、薔薇水製造ノ際ニ是等ノ香料ノ十五倍位ノアルコールニ解キタルモノヲ適宜ニ加ヘテ、透明芳香水ヲ造リ置キテ之ヲ用フルヲヨシトス。

効果 皮膚ヲ軟化セシメ、皮膚ノ養攝トナリ、又白粉ノ溶水ニ用ヒラル。

B、中性化粧水

原料

薔薇水	800.0g
ライラック水	50.0g
硼酸	15.0g
硼砂	10.0g

鹽酸キニーネ	1.0g
グリセリン	50.0g
アルコール	100.0g
蒸留水	500.0g

製法 同前

効果 一般的皮膚養攝及ビ洗滌劑トシテ、油顔ノ人、男子ノ化粧水トナリ、日焦止メノ効少々アリト云フコトガ出來ル。

C、アルカリ性化粧水（ライラック液）

原料

ライラック水	1200.0g
硼砂	100.0g
グリセリン	70.0g
アクトロビン	3.0g
ペーター・ナフホル	1.0g
アルコール	130.0g



**製法** グリセリンニ硼砂ヲ入レテヨク攪拌シ、モシ全量溶解セザル時ハ加温溶解ナシ、別ニ、アルコールニ藥品二種ヲ溶解シタルモノヲ加ヘ、ヨク混和震蕩ノ上、之ヲライラツク水ニ注加シ、靜置スル時ハ硼砂ノ飽和液ヲ得ルモノデアル。

本品ハ一般ニ紫紺色、藍色ヲナス。ヘロノフタイン液ノ少量ヲ加ヘテ赤色トナシタルモノニ葉綠エッセンスヲ加ヘレバ紫紺色トナル。ライラツク色素トシテ販賣セラル、モノヲアルコールニ溶キ注加着色スル時ハ更ニ美シキ藍色ヲ現ハス。製造作業ハ、Aト同ジデアル。スペテ靜置ト濾過ヲ怠ツテハ、製品ヲ永久ニ透明體タラシメル事ガ出來ナイ。

**効果** 脂質過多症ノ人及ビ男性ノ化粧水トシテ用ヒラレ、又コールドクリームニテマツサージ洗顔ヲナシ、ガーゼニテフキ取リタル上、尙ホ脂肪分ノ過剰ヲ去ルニハ、ガーゼニライラツク化粧液ヲ含マセフキ取ルトヨイ。又白粉オトシテ顔面ノ洗滌劑トモナリ、多少ノフキ出モノ、ニキビモ永ク用フレバ治効ガアル。又永ク用フル時ハ硼砂ノ働キニヨリ皮膚色素ヲ分解シ、ヨク顔面漂白ノ効ヲアラハス。

二、植物エッセンス化粧水製造法

A、ヘチマ化粧水

原料	量
橙花水(又ハ橙皮水)	300.0g
ヘチマノ水	200.0g
キヨルン水	500.0g
硼酸	40.0g
キニーネ	5.0g
沃度加里	2.0g
グリセリン	80.0g
アルコール	80.0g

**製法** 同前

**効果** ヘチマ及ビ桃葉橙花ノ爲メ、皮膚ヲ收斂シ、攝養ノ効多ク、皮膜軟和等、化粧液トシテ使用効果誠ニ多シ。

B、胡瓜化粧水(キューカンバ化粧水)

原料	量
グラデオラス芳香水	300.0g
胡瓜水3%	500.0g

薔薇水	500.0g
硼酸	40.0g
グリセリン	70.0g
鹽酸キニーネ	7.0g
アルコール	30.0g

製法 同前

着色 本品ハ葉綠エッセンスノ少量ヲ以テ着色シ、薄キ青綠色トナシ、其清涼味ヲ現ハ

シ好感ヲ與ヘルヲ一般トナス。

効果 夏期ノ化粧水トシテ、胡瓜水ノ働キニヨツテ、ヨク日焦ゲセル熱顔ヲ治シ、又キニーネノ働キニヨリ紫外線ヲフセギ、夏期ノ化粧水トシテ、ヤ、進歩セルモノデアアル。

(備考) 芳香水製造法

以上述べタル化粧水等ニ用フル諸芳香水及ビ植物エッセンス含有水等、此後ニ使用スル總テノ芳香水ヲモツ透明水溶性化粧品ニ用フル芳香水共、スベテ透明體デナケレバナラナイ。左ニ、調合、含有原料及ビ製造ノ方法作業ヲ述ベル。本法ハ他ノ化粧品ニモ應用セラルル

ヲ以テヨク練習體得シ置クノ必要アル製造準備作業デアアル事ヲ特筆スル。

尚ホ、左記各處方ノ原料ハ同一ノモノ各第二回目ヨリハ其三割ヲ減ジテ略々同一ノモノヲ得ラル、○ソレハ炭酸マグネシアニ附着シテ不溶解分ガ次キ續キニ殘ル故デアアル。

第一法、ローズ水(薔薇水)

原料		
ローズ油	5.0g	
ハマナスエッセンス30%	100.0g	
橙花油	2.5g	
安息香	3.0g	
ハイドロキシトロンアル	3.0g	
ワニリン	2.0g	
サイクラミン	2.0g	
グラヂオラス	3.0g	
アルコール	100.0g	
蒸留水	4800.0g	
硼砂	5.0g	

炭酸マグネシア

200.0g

第二法、ライラツク水

原料

ライラツク

10.0g

グラヂオラス

3.0g

カイクラメソ

3.0g

ヂヤスミン

2.0g

桃葉油

3.0g

クマリン

3.0g

アルコール

100.0g

硼砂

10.0g

蒸留水

4800.0g

炭酸マグネシア(炭麻)

200.0g

第三法、コロソ水(キヨルソ水)

原料

橙皮油

3.0g

ローズ油

3.0g

桃仁(苦扁桃 及甘扁桃仁)

200.0g

桃葉油

2.0g

クマリン

2.0g

ヒヤシンス

3.0g

アルコール

100.0g

蒸留水

4800.0g

炭酸マグネシア

200.0g

荷ホ、ヘチマエツセンスヲ用フル時ハ 100.0g

追加

第四法、キユーカンバア水

原料

グラヂオラス

3.0g

胡瓜汁30%

600.0g

フリージア

3.0g

ヂヤスミン

1.0g

サイクラマンソ

2.0g

枸橼油

2.0g

アルコール	100.0g
硼砂	5.0g
蒸餾水	3600.0g
炭酸マグネシウム	200.0g

第五法、レモン水

原料

レモン油	5.0g
レモン汁(皮三分味一分)30%	100.0g
レモンエッセンス	20.0g
ベルガモット	2.0g
ボツカーン	2.0g
バニキヤエッセンス	50.0g
アルコール	100.0g
蒸餾水	4800.0g
炭酸マグネシウム	200.0g

製法 以上諸エッセンスヲ含ム芳香水ヲ造ルニハ、先ヅエッセンス汁ヲ作り置ク、桃仁

胡瓜、レモンノ如キハ細カニキザミ適宜ノ水ヲ加ヘテ、ヨクツキマゼ之ヲ搾リテ汁ヲ造ツテ置ク、次ニ諸香料ヲ混合シタルモノニ強アルコール全量ヲ加ヘテ、充分ニ震蕩ナシ、モシ、アイスクリーム器所持ノ人ハ之ニ掛ケテ充分ニ施廻セシメ、一種ノ香水ヲ製造シ置キ兩三日乃至一・二週間ヲ置キ、其間ニモ度々震蕩シテハ放置シ置キ、別ニ蒸餾水ノ全量ニ硼砂ヲトカシタルモノヲ微温トナシ(攝氏四〇度位)之ニ先キノ香水及ビエッセンスヲ注加攪拌ヲナシ、全體ガ均等ナル乳狀ノ液トナルマデヨク攪拌ヲ續ケ、一兩日度々攪拌ヲクツカヘシタル上、炭酸マグネシウムヲ散入攪拌シ、數回度々攪拌ノ上、三日間位絶對ニ靜置セシメ置ク時ハ炭酸マグネシウムハ不溶解ナル白濁ト共ニ沈下シ、透明ナル芳香液ヲ得ル事ガ出來ル。「サイホン」ヲ以テ其上皮、アワ及ビ沈澱物ノ絶對ニ入ラヌ様ニ汲取り羅紗ニテ濾過シ、之ヲ用フルノデアル。

尙ホ、同一ノモノヲ第二回ニ造ル時ハ、前ノ同一品ノ糟ニ處方ノ三割減ノ香料ト處方通リノエッセンス、アルコール、蒸餾水ヲ以テ、前回同様ノ作業ニテ製造スルヲヨシトス。但シ、炭酸マグネシウムハ新シキモノヲ、前回ノ十分ノ二位追加スレバ充分ニ透明セシムル事ガ出來ル。

此作業ニヨル數回使用シタ糟ハ硼砂ヲ含マザルモノハ、糟ノマ、水おしろいノ香料ニ

用ヒテ便利デアリ經濟デアル。

三、グリセリン性化粧水

A、ベルツ水(化粧用)

原料	硼酸	20.0g
	苛性加里	1.5g
	グリセリン	300.0g
	アルコール	100.0g
	コロン水	4600.0g

製法 同前

効果 ベルツ博士ニヨツテ、日本ニ殘サレタル處方ヲ改善シタルモノニテ、荒性ノ人ノ浴後ノ洗膚攝養ニ特效アリ。別名、皮膚液ノ名稱サヘアルモノデアル。

四、漂白劑(藥効性)化粧水

A、過酸化水素化粧水

原料	硼酸	30.0g
	硼砂	20.0g
	グリセリン	100.0g
	硫酸キニーネ	20.0g
	過酸化水素3%	150.0g
	アルコール	150.0g
	キユーカンパア水	4600.0g

製法、同前

尙ホ硫黄乳ヲ少量加ヘタルモノ亦良シ。過酸化水素ハ瓶詰ノ際將ニ封ゼントスル時注加シ直チニ密封シ、特ニコルクハ蠟煮シタルモノカ、或ハゴムヲ用ヒテ可及的外氣ニ觸レシメザル様ニス可キデアツテ、近頃見ル、瓶ソノモノガ振出シ口ニナツテ居ルモノハ此目的ニ最モ適當ナモノデアル。必ズ使用注意書キヲ附シテ、次ノ注意ヲナスベキデアル。「使用ノ際ハ手早ク用ヒテ、使用後直チニ密封スル事、暗所ニ置ク事、眉毛頭髮ニ着ケザル事萬一附着シタル時ハ、清水ヲ脱脂綿ニ浸シテ、眼、眉等ヲ洗フ事」ノ注意ヲ與フルヲ必要トスル。赤ク着色スルモヨク、又赤色、茶褐色ノ瓶ヲ容器トスルヲヨシトス。

**効果** 顔面ノ漂白ト寄生菌、虫ノ撲滅ガ目的デアアル。

本品ハ普通化粧品トシテハ、其使用効果ノ書キ方、如何ニヨツテ或ハ發賣免許ガ得ラレナイカモシレヌ。部外品トシテ免許申請スベキ品デアアル。

以上ノ外、種々ニ皮膚攝養劑ヲ加ヘテ有効ナラシムル様ニ、考案創製シテ、販出ヲ計ル可キデアアル。尙ホ一般化粧品ニハ、從來、ゼラチン、アラビアゴムノ如キヲ必ズ加ヘテ、多少ノ粘着性ト掩覆性ヲモタセタモノデアアルガ、常ニカ、ルモノヲ用ヒテ、氣胞ヲフサギ皮膚呼吸、代謝作用ヲ止メル害アレバ、アマリ用ヒナイ方ガヨイ。

尙ホ、對應症のニ特種使用効果ヲ大ナラシムルニハ（賣藥部外品トナルガ）沃化物、キニン化合物、トルオール屬、ホルモン劑等ノ加味シテヨロシク、シミ、ニキビ取りノ如キモノニハ、硫黄乳、アントテロピン、ズルホー石炭酸鉛等ノ少量ヲ、又沃度砒素ノ如キヲ加ヘテ慢性皮膚病ニ一日〇・〇一及ビ硫化加里ヲ加ヘテ、フキ出モノ、鉛毒及ビ尿酸ヤケヲ治シ特效ヲ現ス。其ノ内、アントラロピンハ効果モ一般的デアリ、無刺戟皮膚病藥トシテ常ニ用ヒラレル。製造者ハ、日常皮膚醫學、同藥物ヲ參照シテ試用調製ノ上、充分ナル實驗ヲ經タル上ニテ發賣ノ方法ヲトルベキデアアル。

特ニ劇藥、毒藥ヲ用フル必要アル時ハ專問家ト相談ノ上、劇毒藥ノ使用分量、藥局法、部外品規定ヲ參照、諸文意等ヲ實驗ノ上製出スベク、使用上ノ注意ヲ特筆スル事ヲ忘レテハナラナイ。

## 第二項 不透明化粧品製造法

### 一、乳液類製造法

#### A、純植物性乳液

原料	分量
オリーブ油	25.0g
アルモンド油	25.0g
白 蠟	25.0g
グリセリン	100.0g
硼 砂	5.0g
トラカガンタフォーム	30.0g
苛性加里	2.0g
バラ水	4700.0g
ヒヤンソナス	2.0g

ローズ油	2.0g
ワニリン	2.0g
ジヤスミン	1.0g
リナロール	1.0g
アルコール	70.0g

**製法** オレブ油、白蠟、アルモンドヲ微温ニテ溶合シ置キ、別ニ蒸留水又ハ煮沸水ノ半量、二三〇〇グラムニ苛性加里及硼砂ヲ溶キタルモノヲ煮沸溶解シタルモノヲ注加シ、ヨク攪拌シ、約一時間煮、残り二二〇〇グラムニ、トラカガンタゴムヲ溶キ濾過シタルモノニ、アルコールノ全量デ香料ヲ溶解セルモノニグリセリンヲ加ヘタルモノヲ入レ、兩者ヲ混合シテネリ、絹布ニテ濾過シテ瓶詰トナス。

**効果** 養攝ノ効アリ、又軟性マツサージトナリ、白粉下トモナル。クリームニ優ル事數等ト云ヘル。

**B、脂肪性乳液**

**原料**

甘扁桃仁

100.0g

蜂蜜	150.0g
ワニラ豆	20.0g
アルモンド油	10.0g
安息香脂	10.0g
卵黄	三ヶ分
サリチール酸	1.0g
硼酸	20.0g
蒸留水	4700.0g
ローズ油	3.0g
橙花油	3.0g
ベルガモット	1.0g
ジヤスミン	1.0g
アルコール	50.0g

**着香料**

**製法** 甘扁桃仁及ビワニル豆ヲ乳鉢中ニテ、ヨク搗碎シ、充分ニスリタルモノニ蜂蜜及ビ卵黄ヲ加ヘ、アルメント油、以下ヲアルコールニ溶キタルモノヲ注加シテ、ヨクスリ

マゼ、蒸留水ニ硼酸及ビサリチール酸ヲ溶シタルモノヲ加ヘテ、スリノバシ、二重ノ絹布ニテ濾過シ、モシ萬一ニモ均等ニナラザル時ハ、トラカガンタゴムノ粘醬ヲ加ヘテ更ニヨクネリ乳劑トナス。

**効果** 本品ハ、バステンヲ水ニ延バシタル意味ノモノニテ、植物膠性ト蛋白質ト脂肪ヲ合セモチ、荒性ノ皮膚ニ特效アリ、又白粉下ニモヨク効果至大ナルモノ乍ラ、製造ニ充分ノ注意ト防腐及ビ消毒ガ完全デナイト腐敗シテ、恐ロシキ毒性ヲ生ズルモノナレバ、餘程ノ注意ヲ要スルモノデアル。

C、石鹼乳液(胡瓜乳液)

原料	量
白色薬用石鹼	25.0g
オリーブ油	15.0g
白 蠟	5.0g
胡瓜汁30%	1500.0g
鯨 蠟	5.0g
グリセリン	100.0g

タラカカンダゴム	30.0g
ベクチン	15.0g
硼 砂	7.0g
硼 酸	10.0g
フリージア	3.0g
ヘリオトロピン	2.0g
サイクラメン	2.0g
リナロール	1.0g
カシマー	2.0g
アルコール	80.0g
蜂 蜜	50.0g
アソトロロピン	1.0g
硫酸キニーネ	3.0g
サツサフラス油	2.0g
蒸 留 水	2500.0g



**製法** 胡瓜汁ニ石鹼ヲ溶解シタルモノニ、諸油、即チオレブ油、白蠟、鯨蠟ヲ溶シタルモノヲ抽加シ、糊狀トナルマデ煮沸シ、均一ニナリタル時、グリセリン及ビ總テノ原料竝ニ藥料ヲアルコールニ溶解シタルモノヲ混和シタルモノヲ加ヘテ、充分ニ攪拌シ、次ニ蒸餾水ニ、ベクチン、及ビトラカガンタゴムヲ溶シタルモノニ蜂蜜ヲ加ヘ粘液トナシタルモノヲ一度濾過シタルモノヲ前者ト混合シテヨク攪拌シ、絹布ニテ濾過シテ出來ル。

**効果** 本品ハ脂肪性ト云フヨリモ、中性ニ近キモノデアツテ、皮膚ノ洗滌、日焦ケ充血ヲ冷シ、又日焦ケヲ防グニ効ガアル。

尙ホ本品ハ葉綠エツセンスヲ以テ清涼味アル着色ヲナスモヨイ。アルモンドヲ用ヒタルモノニ、赤ト黄色ヲ合セテ、肌色ローズクリーム色ヲ出シタルモノモヨキモノデアアル。此場合ニハ、少量ノカルミントサフランヲ合セテ色ヲ適宜ニ造リテ着色スレバヨイ。

以上ノ外、或ハ乳糖ヲ用ヒタルモノ、乳素ニヨルモノ、蒲公英乳液等ト稱シ蒲公英エツセンスヲ加ヘタルモノアリ、又豆乳ヲ用ヒテ巧ミニ防腐シタルモノサヘアレドモ、一般ニハ、Aノ處方ノモノニ近キモノガ多ク行ハレテ居ル。乳液ハ皮膚滲透性多ク、從ツテホルモン劑等ヲ加ヘテ、有効ニ其目的ヲ達シ得ルモノデアアル。

## 講師

本會經理部長  
講 師 河 越 朝 彌

## 第七講座 毛髮料製造法

化粧品製造化學研究學會編

# 第七講座 毛髮料製造法 目次

## 第一章 毛髮攝養劑

### 第一項 フケトリ香水製造法

#### 一、ベールラム製造法

Aノ一、無脂肪性サフランベールラム

Aノ二、含脂肪性サフランベールラム

B、葉綠フケトリ香水

C、キニーネ、フケトリ香水

#### 二、オーデコロン製造法

### 第二項 對症劑ベールラム類製造法

一、脂漏性脱毛防止用ベールラム

二、病菌撲滅用ベールラム

三、産後脱毛防止、婦人長髮用ベールラム

第七講座 毛髮料製造法科

第二章 毛髮用脂油類製造法

第一項 水狀美髮油各種製造法

一、椿油及ビ香油處方數種

二、洋髮艶出シ油各種

第二項 煉狀毛髮油各種製造法

一、型油各種

二、植物性ボマード各種

三、礦物性芳香ボマード各種

四、チツク及ビ髭チツク各種

第三章 毛髮用諸助料

第一項 くせ毛直シ製造法

一、粘液狀ノモノ

二、固型ノモノ

第二項 バンドリン製造法

第三項 毛髮洗粉類各種製造法

第四項 脫毛劑各種製造法

一、脫毛用クリーム

二、脫毛石鹼

三、脫毛粉

第五項 染毛劑各種製造法

# 第一章 毛髮攝養劑

## 第一項 フケトリ香水製造法

### 一、ベラーム

Aノ一、無脂肪性サフランベラーム(黄色)

原料		
アルコーブ		1200.0g
蒸留水		1000.0g
ベニ葉油(可溶性60%)		7.0g
メントール		10.0g
丁香油		3.0g
松葉油		2.0g
レゾールチン		3.0g
ユーゼノール		5.0g
セダーフロリダ		5.0g
調合ローズ油		10.0g

香料

着色料

ビヤクミン	6.0g
キナリン	7.0g
毒蒸沸トビヤクミン	1.0g

**製法** 先ヅ、アルコールニ全部ノ藥品及ビ香料及ビ着色料ヲ全部溶解セシメ、充分ニ震蕩シタル後、其ノ全量(少量三グラム——五グラム位ノ硼砂ヲ入レテモ可)ヲ注加シテ更ニヨク攪拌シ、全部均等ナル乳白トナリタル後、之ニ炭酸マグネシウム百グラム位ヲ散入シナガラ、更ニヨク攪拌ヲナシ之ヲ、兩三日静置シタル後、完全ニ透明トナルヲ待ツテ上皮及ビ沈澱ノ動カザル様ニ「サイホン」ニテ別器ニ汲取り、厚地ノ羅紗又ハメルトンニテ濾過シ、更ニ静置シ置キ今一回濾過シテ瓶詰ニスルヲ可トス。

但シ、ペーラムノ製造ニ於テハ、零下度十位ノ低温方法以テ作業スベキモノデアル。以上ノ如ク第一回ノ製造ニハ、多クノ藥料及ビ香料、着色料ヲ入用スルモ、第二回ヨリハ同一炭酸マグネシア沈澱ヲ再用スル時ハ、其内ニ残留スル物アルニヨリ、アルコール及ビ蒸留水以外ハ前記處方ノ二割減ノ原料香料及ビ着色料ニテ、前ト同一ノモノガ得ラレル。  
**効果** フケヲ取り、ノボセヲ引下ゲ、カユミヲ止ムル効アリ。又頭皮ノ清潔ヲ保チ、分泌脂肪ヲ溶去シ、ヨク毛穴ヲ通風シ、陳珍代謝ヲ盛ンナラシム。

注意スベキ事ハ、唯一時的刺戟ヲ與ヘ、一時ノ快ヲ以テ顧客ヲ得ントシテ、蕃椒丁幾ノ如キヲ用ヒ、又黄色染料ニテ着色シテ、サフランヲ畧ス等ノ事無キ様、ドコマデモ、眞ニ衛生ノ目的ニ叶フ様ニ、製造良心ヲ以テセラレン事ヲ希望スル。

Aノ二、含脂肪性ペーラム(強純品)

原料		
アルコール	1000.0g	
グリセリン	50.0g	
レゾールチン	2.0g	
比麻子油	70.0g	
丁香油	10.0g	
チモール	1.0g	
サツサfras油	7.0g	
蒸留水(一パーセント硼砂含有)	50.0g	但シ白濁セザル程度迄
ベルガモット	2.0g	
サイクラメン	4.0g	

着香料

## 着色料

カシュー	3.0g
チアラン	4.0g

**製法** 本品ハアルコールニ全量ヲ加ヘテ震蕩シ、完全ニ溶合透明シタル時、時々震蕩シテハ兩三日暗所ニ放置シ、之ニ蒸餾水ヲ十瓦位ヅ、注加シテハ震蕩シテ見テ、ヤ、曇ルノヲ限度トシ、更ニ時々震蕩シテ約一週間位靜置シ、コシ紙ト羅紗デ濾過シテ製造ヲ終ル。

**効果** 本品ハ、純強劑ニシテ、一般ベールラム以上ニ烈戟ヲ感ズル、グリセリン及ビ脂肪ヲ含ミ毛根養攝及ビ頭皮ノ保健ヲ其ノ特質トスル。

## B、葉綠フケ取り香水(綠色)

原料	アルコール	1200.0g
	メントール	5.0g
	桂皮油	1.0g
	カルボール	2.0g
	チモール	1.0g
	安息香	5.0g

## 着香料

蒸餾水(少量ノ硼砂ヲ加ヘテ)	1000.0g
ヒヤシンス	6.0g
ローズ	2.0g
ラベンダー	2.0g
橙皮油	2.0g
ベルガモット	1.0g
葉綠エッセンス	4.0g

**製法** 前同様ナレドモ、本品ハベール葉油、丁香油ノ惡臭ナク、使用上氣分ヨク、香水ト云フ趣キ多ク、爲メニ愛用セラル。特ニ夏期ハ如何ニモ清涼味ヲ現ハス。

本品ノ着色ハ一般ニ、葉綠エッセンスヲ用ヒ居レドモ、ソノ青味、互エノトセザルノ感有リ、筆者ハ、ライラック色素ヲアルコールニ解キ、之ニ少量ノサフランヲ入レテ、實ニ鮮ヤカナル、青綠色ヲ得テ用ヒテ居ル。

尙ホ本品ハ一方芳香ガ目的ナレバ、時ノ流行ニヨツテ香料ヲ變ズ可ク、又頭臭ノアル人多ケレバ、其頭臭ト和シテ、不快ナル臭氣トナラザル様ニ、香料ノ配合ニ特ニ注意ヲ要スルモノデアル。

C、キニーネ、フケトリ香水(赤褐色)

原料	量
アルコール	1200.0g
鹽酸キニーネ	7.0g
沃度加里	3.0g
トレンオール	5.0g
メソトール	4.0g
蒸餾水	1000.0g
タービネオール	4.0g
ゼラニオール	2.0g
チヤスマノール	3.0g
龍腦	1.0g
カシー	3.0g
カーネーション	5.0g
着色料	
オービ・キニーネ色素	12.0g

製法 前同様デアル。毛髮ノ爲メニハ、キニーネハ特效ニシテ、規那皮ノ浸出液即チ

規那丁幾ヲ用フル方効果的ナレドモ、色ハ暗濁ナル上ニ、永キ間ニ有機物ノ沈澱ヲ生ジテ一見腐敗セルガ如ク見ユル爲メ、現今ニテハ色素ノミヲ用ヒテ、別ニキニーネ劑ヲ配合シテ有効ナラシメテ居ル。昔時ハ醋酸ノ少量ニ紫蘇葉ヲ解キテ、用ヒタルモノモ有リタルガ現今ハナシ。

効果 消毒トナリ、脱毛ヲ防グニ有効ナル上ニ、キニーネハ紫外線防止トナツテ毛髮ノ枯死ヲ防ギ、沃度ハ毛根ヲ養ツテ黒羽光ヲ出サシム。

II、オーテコロハ

原料	量
アルコール	1200.0g
橙皮油	50.0g
レゾールチン	3.0g
チモール	1.0g
メソトール	5.0g
ヘレオトロピン	3.0g
レモン油	7.0g

着香料

レモンエッセンス	10.0g
オレンジ油	3.0g
松葉油	3.0g
山椒油	1.0g
ゼラニオール	2.0g
フェニエールアルコール	10.0g

着色料

ナシ

製法 香料ノ總テハ、テルペン抜キノモノヲ選ンデ用ヒナケレバ、満足ニ溶解透明シナイ、本處方ハ強純ニシテ純アルコール百パーセントデアアルガ、若シ、アルコール六、水五ノ割合ノモノヲ造ラントセバ、ソノ名ヲ表現スル如ク、キョルン水、即チコローン水ヲ混合シテ、炭麻ニテ透明セシムルモ可デアアル。

効果 本品ハ主トシテ男性向キ、外人向キデアアル。

以上ノ外ニ、特ニ花香ニ重キヲ置ク、床マキ香水兼用ノモノモ販賣サレ、其目的實効ヲ度外視シ、一ニ顧客ノ鼻感ニノミ迎合スルヲ目的トシテ製造セラレ、高級ペーラム等ト銘

打ツテ居ルガ實ニ寒心ニ堪ヘナイ。

尙ホ次ニ、理髮店用ノペーラムニシテ一升一圓内外ノ廉價品ハ、製造者ガ生産原料費ノ計算立タズ、爲メニ、法規ヲ犯シ人道ヲ無視シテ恐ル可キ、殺人アルコール、メチールアルコール(一斗七・八圓)ヲ用ヒテ製出シ、罪ニ問ハレ、三百圓ヨリ五百圓ノ罰金刑ヲ受ケタルモノサヘアルハ、業界ノ爲メ誠ニ悲ムベキ事實デアアル。

如何ニシテモ、廉價ノモノヲ必要トスルナラバ、化粧品トシテハ誠ニ不本意ナレドモ、工業用アルコールヲ用ヒテ製スル方ガ罪ニ問ハレザルダケデモ得デアアル。

三、劣等品一升賣リペーラム

工業用アルコール	1200.0g
メントール	7.0g
レゾールチン	4.0g
山椒油	5.0g
松葉油	3.0g
ジヤスマノール	10.0g
蒸留水	1200.0g



**製法** 或ハフロリタ、シダー油ノ如キ、スベテ強臭ナル香料ヲ用ヒテ、工業アルコールノ惡臭ヲ封ズルモノデアツテ、現今工業アルコールハ一斗三圓五十錢程度ナレバ、將ニ一升ノペーラム、二十五錢位ニ出來上リ、之ニ瓶ヲ添フルトモ、充分ナル利益が見ラレルノデアル。理髮業者ハ、却ツテコノ劣等品ニ高價ヲ支拂ツテ居ル事ニナル。

尙ホ又ペーラムハ、其目的ガ頭髮ノ攝養ニアリ、フケヲ取り、カユミヲ止メ、頭皮ノ代謝及ビ、腦ノ冷却ヲ主目的トスルモノナレバ、一般ニ椿ノ如キ油分ノ幾分ヲ含有セシムル事が最も目的ニ適應ス可ク、一般ニ比麻子油ノ五パーセント位ヲ溶解混入セシメ、少クトモグリセリンヲ加ヘテ、頭皮ニ常ニ濕度ヲ與フルヲヨシトスル。

又製造作業ニ冷却低溫裝置ノ必要アルモ、寒劑ヲ用ヒ、エーテルノ少量ヲ用ヒル方法モアルガ不完全デアル。手工業トシテハ、此点一寸困難ナ問題デアル。宜シク本來ノ主旨ヲ常ニ念頭ニ置キ善處シ、製品ガ常ニ低溫ヲ保チ得ルト共ニ、使用ノ際、頭ノ熱ヲ去リ得ル様ニ盡カスルヲ要スル。

### 第二項 對症劑ペーラム類製造法

#### 一、脂肪性脫毛防止用ペーラム

アルコール

100.0g

チモール	1.0g
昇 汞	0.5g
サツサフラス油	2.0g
サリチール酸	0.5g
イゾール	0.5g
純強製オーゾクロン	100.0g

#### 二、病菌ニ因ルモノ、塗擦料

原料	バセリン	100.0g
	キニーネ	5.0g
	レゾールチン	2.0g
	カルボール	2.0g
	水揚酸	2.0g
	イゾール	1.0g

#### 三、産後ノ脫毛防止ペーラム

原料

カンタリス根丁麩

5.0g

硫黄乳	2.0g
サフラン丁幾	10.0g
丁香油	3.0g
安息香油	7.0g
グリセリン	15.0g
比麻子油(白濁セザル程度迄)	適宜量

以上ノ外、ヌカ丁幾、芫菁丁幾ヲ用ヒテ毛生ヲ目的トスルモノ、美なんかつら醬トサリ  
チール酸ヲ加ヘテ、くせ毛直シ料トスルモノ、バルサムヲ加ヘテ、フケヲ止メルモノ等種  
々アルモ、各自ノ考案ニマカセル。

尙ホ、是等第二項ニ屬スルモノ、第一項ノ一部ハ全然部外品ニシテ、ベールラムト雖モ、  
總ベテ賣藥部外品トシテ、免許申請スル方ガヨイ。アマリニ藥効ニ重キヲ置キ、其効能ヲ  
強調スル時ハ、第二項ノ品ハ、賣藥ト認メラル、故ニ、其邊出願ニ當ツテ、ヨク常識ヲ働  
カセ、免許ノ下附ノ早カラン様ニ注意ス可キデアアル。

### 講師

講師 賀川 寛

## 第八講座 香水及香晶品製造法

化粧品製造化學研究學會編

# 第八講座 香水及香晶品製造法目次

## 第一章 香水各種調合法

### 第一項 ハンケチ香水製造法

#### (A) 花香香水調合法

##### 十種花選定

ローズ花、ホワイトローズ花、サイクラメン花、ヘレオトロップ花  
サイネリア花、カビィ花、フリージア、ヂヤスミン花  
スズラン花、スキートクロバア花

一、以上各花香天然模倣調合法

二、以上各花香合成調合法

三、以上各花香ノ簡易調合法

(B) 人造創造香水調合法

##### 六種例撰定

第八講座 香水及香晶品製造法科

ブーケー男性香水、妖女夜會香水、イタリー香水、パツキンガム香水  
シプレー香水、日本香水

- 一、以上各種創造調合法
- 二、以上各種簡易調合法
- (C) 藝術作品香水創造法

凡 例

櫻日本、銀座ノ柳、寒月、夜ノ新宿

第二項 水溶香水製造法

- (A) おしぼり香水製造法
  - 一、ローズ型花香おしぼり調合法
  - 二、レモン型食味調合法
  - 三、キヨルン型化粧おしぼり調合法
- (B) 床撒キ香水製造法
  - 一、洋室用撒布香水調合法
  - 二、ベット用撒布香水調合法

- 三、自動車用撒布香水調合法
- 四、和室用疊撒キ香水調合法
- 五、夜會ホール用撒布香水調合法

第三項 防臭消毒藥効用香水製造法

- 一、防臭劑各種
- 二、消毒用香水各種
- 三、防虫香水(蚊ヨケ香水其他)各種

第二章 香品各種製造法

- 第一項 香料粉末調合法
- 一、天産物配合香粉各種
- 二、合成香料着香粉各種
- 第二項 香晶ト香醋各種調合法

第三章 薰香各種製造法

- 第一項 薰香用線香製造法
- 第二項 薰錠製造法

# 第一章 香水各種調合法

## 第一項 ハンケチ用香水製造法

(A) 花香香水調合法

A ローズ花香香水調合法

### 一、天然香料ニヨル最高級品

原料	
ナルガリア天然ローズ油	5.0g
雲南麝香精	3.0g
ヴェチバア油	1.0g
白檀油	0.5g
ゼラニウム	1.0g
ユリス根	2.0g
龍涎香(アンバア)	2.0g
桂皮油	0.3g
ワニルラ豆油	7.0g

フェニール、アルコール	5・0g
強酒精	300・0g
蒸留水	20・0g

二、 化学合成香料ニヨルモノ

原料		
ハイドロキシシトロネラール	6・0g	
桂アルデハイド	3・0g	
ゼラニオール	4・0g	
アソナレツトP	3・0g	
フェニールアルコール	7・0g	
ターピノール	3・0g	
ネロール	2・0g	
ジヤスマノール	0・5g	
サツタロール	0・5g	
ムスクケトン	2・0g	
ワニリン	5・0g	

三、 簡易法

強酒精	300・0g
蒸留水	20・0g
原料	
アソナレツトP	3・0g
シベツト精	2・0g
ハイドロキシシトロネラール	5・0g
ゼラニオール	3・0g
ジヤスマノール	1・0g
フェニールアルコール	10・0g
強アルコール	200・0g
蒸留水	20・0g

製法 各アルコールニ香料ヲ混合セルモノヲ入レ、盛ニ震蕩スルノデアアル。一日十回位各回二十分位モ強ク震蕩ヲツケル。三日間位暗所ニ静置シ、後取り出シテ、蒸留水ヲ加ヘ、更ニ震蕩ヲナシ静置シ、沈澱物ヲ去リ、出来得ルナラバ一・二ヶ月ヲ經テヨリ濾過シ、罐詰メナシタル方ヨロシク、サウスレバ完全ニ溶和シテ、アルコール臭ヲ感ゼザルモノト

ナル。各香料ノ香モ、ヤワラカニ目的ノ香ヲ出スモノデアアル。人各々ノ嗜好ニヨリテ、多少ノ差モアリ、又調合ハ藝術的ノモノナレバ、種々ニ配合ヲナシ研究スルノミナラズ、既ニ、出来上リタリト思フモノニテモ、嗅ヒデ見テ、ビント頭ニ感ジテ、何か香料ノ少グラムヲ加味シテ、思ヒ掛ケザル、良好ナル香ヲ得ル事モアリテ趣味深キモノデアアル。

製造販賣策トシテハ、時ノ流行ヲ目標トシ、香料原論ニ於ケル諸理論ヲ參考トシテ、可及的廉價ナル香料ヲ合セテ、高尚優雅ナル芳香佳芳ヲ得ルヲ要スルト共ニ、アマリニ自己獨自ノモノデ無イ萬人ニ愛好サレル様ニ、又永ク香ノ持續スル香ヲ造リ上ゲネバナラヌ。出来上リタルモノ、香氣ヲ試験スル場合ニハ鼻ヲ新シクシ、戶外ニテ微風ノモトニ、朝ノ晴天口ノ下ニ、紙又ハ布ニ着ケ一・二分ヲ過ギテヨリ、其香ヲ鼻ニ呼ビ、無念ノ内ニ靜カニ味フテ見ルヲ要スル。

香ノモツ調(リズム)ヲ上手ニ合セテ行ク事ハ、音樂ニ於テ作曲スルノト何ノ變リモナイ、藝術的習練ト經驗ト、天來ノインスピレーションナルナ作業ガ第一デアアル。次ニ製造者ニ依ツテハ、内國品、特ニ國産化學香料ニテハ思フマ、ノ香ヲ出シ得ナイト稱シテ、徒ラニ、外國製品ヲ用フルモノアレド、外國製花香香料ト稱シテモ、佛國製ノ一

部高價ナル、一オンスニ・三百圓ノモノヲ除イテハ、殆ンド化學合成及ビ天然模倣香料ノ調合品デアル事ヲ知ルト共ニ、一段ノ調合藝術ノ達成ニヨツテ、意ヲ得タルモノヲ國産原料ニヨリ調製ス可ク努ムルヲ要スル。

又常ニ多クノ天然ノ花香ヤ香水ヲカギ合セ、カギ別ケテ、比較研究ナシ、自分ノ識見ヲ養フ必要ガアル。永ク常ニ嗅ギ分クル内ニハ、其香水ガ如何ナル原料ノ配合デアリ、何ガ不足デ何ガ過剰デアリ、又何ヲ加ヘレバヨリ芳香トナリ得ルカヲマデ知覺シ得ル様ニナルモノデアアル、天來的即感(インスピレーション)ニヨルヲ要スル。

B、サイクラメン(シクラメン)香水

一、天然模倣品

原料	分量
ローズ油	5・0g
バニオレット、バニマア	2・0g
イラン、イラン	1・0g
アカシア	5・0g
ジエチバア	3・0g

第八講座 香水及香品製造法科

六

ヘリオトロピン	4.0g
迷迭香	3.0g
ハイドロキシシトロネラール	7.0g
アルコール	300.0g
蒸留水	20.0g

二、合成香料調合品

原料

ヘリオトロピン	3.0g
ハイドロキシシトロネラール	10.0g
シニツト精	3.0g
フェノールアルコール	4.0g
イソ、ユーゼノール	1.0g
アミール、サリシレート	1.0g
ターピノール	2.5g
ジヤスタノール	1.5g
ネロール	3.0g

強酒精	300.0g
蒸留水	20.0g
ニルガモツト	0.5g

三、簡易法

ヘリオトロピン	3.0g
ターピノール	4.0g
ハイドロキシシトロネラール	8.0g
ネロール	4.0g
ジヤスミン	2.0g
丁香油	0.5g
アルコール	200.0g
蒸留水	10.0g

製法 前同様

シクラメンハ、南アルプスノ山腹ニ繁リ、春ノ雪解ケヲ待ツテ咲キ出ル。云フニ云ハレ  
 ヌ優雅艶麗ナル花芳ヲモチ、實ニ萬人ノ愛スル香デアル、天然香料ハナク、全部ガ模寫デ



アル。

C、鈴蘭香水(リリオプバレー、ミューゲットフラワー)

一、天然模倣ノ製法

原料	分量
アルモソド	1.0g
ラニルラ	4.0g
アカシア	2.0g
ヘレオトロージア	4.0g
桂皮油	0.5g
麝香精	1.0g
橙花油	0.5g
大茴香油	4.0g
ハイドロオキシシトロネラール	10.0g
ラニニールアルコール	3.0g
アルコール	300.0g

二、合成調合ノモノ

原料	分量
蒸留水	20.0g
白檀油	0.5g
ハイドロオキシシトロネラール	12.0g
クマリン	2.0g
ターピノール	3.0g
アソラレツトP	1.0g
イオノソ	2.5g
シニツト精	1.5g
ネロール	1.0g
ラニニールアルコール	7.0g
リナロールエキストラ	1.0g
アルコール	300.0g
蒸留水	20.0g
ジヤスマノール	数滴量

三、簡易法

原料	分量
タービノール(香水用)	4.0g
ハイドロキシシトロネラール	10.0g
ホフイトローズ	3.0g
ジヤスマノール	1.5g
イソ、ユーゼノール	0.5g
ムスタ、ケトン	2.0g
ヘレオトロピン	1.0g
アルコール	200.0g
蒸留水	20.0g

**製法** 同前、鈴蘭ノ花、北海ノ原野、深山ノ谷間、一人静カニ眞白キ鈴ヲツラネテ、タ  
 オヤカニ咲ク、寂靜タル内ニ云フベカラザル氣品ト希望ヲ懷深ク抱ク、將ニ深窓ノ處女丸  
 重ノ姫ヲ思ハセル感アリテ、仲々ニ模寫ヲユルサナイ。  
 近來數年ニワタル流行デ、彼モスラン、コレモスラント似テモ似ツカヌ粗製品、又

ハ名ノミノモノ出デ、今ヤ漸ク一般カラ嫌ハレツ、アル。

前記ノ諸調合ヨリモ尙ホ簡易ニシテ、一寸柔カク感ゼラレル調合ガアル。

ハイドロキシシトロネラール	10.0g
フニラン	2.0g
ホフイトローズ	3.0g
ジヤスマン	1.0g
ムムシイ糖	1.0g

尙ホ之ニ、アムールノニグラム、カビーノ一グラムヲ加ヘテ行クト、實ニ奥行キノアル  
 芳香ガ得ラレルガ、金木犀トスランノ境ト云フ様ナ、複雑ナ、一寸ト都ノ春晩ノ夕ト云  
 フ様ナ香水ガ出來上ル。之レ亦面白カラシ。

〔備考〕 調合用アルコール準備

前記ノ諸調合ヲ通覽スル時、大體ニ於テ三ツノ型ヲ演繹シテ行ク事ガ出來ル、ソコデア  
 ルコールヲ香化シテ置テ、目的ノ香料ヲ之ニ加ヘテ、簡易ニ即席ニ花香香水ヲ造ルノモ、  
 行商等ニハ必要ト思フ。左ニ三ツノ型ヲ、アルコールノ香化型ト銘打ツテ記載シテ參

考ニ資スルガ、未ダ完全ニ研究ヲ遂ゲタモノデハナク、主觀的ナ便法デアル事ヲ斷ハツテ置ク。

使用アルコール香化型

(1) O型(オキシ型)……………ミユウゲ、ローズ等ニヨシ。

アルコール	500.0g
ハイドロオキシシトロネラール	15.0g
タービノール(香水用)	9.0g
アソプレットP	9.0g
ワニリン	2.0g

(2) 麝香型

アルコール	500.0g
ムスクシロール	5.0g
ムスク、ケトン	5.0g
シニツト精	7.0g
ワニリン	6.0g

(3) 青葉型

ネロリン	4.0g
タービノール	3.0g
アルコール	500.0g
ヘリオトロピン	5.0g
桂アルデハイド	4.0g
ネロリン	1.0g
安息香	2.0g
クマリン	5.0g
フェニールアルコール	7.0g

以上ノ如ク、一ハ鈴蘭、ホワイトローズ、ローズ、ヒヤシンス等ニ適シ、二ハサイネリ  
ア、フリージア、カビー等ニ適シ、三ハ、スキートクロバア、サイクラメン等ニ適スル  
云フコトガ出来ヨウ。

D、ジャスミン香水

一、天然模倣製品

原料	
白檀油	3.0g
靈猫香	2.0g
龍涎香	2.0g
麝香精	4.0g
イラソイラン	4.0g
イリス根チンキ	6.0g
大茴香油	3.0g
アカシア	3.0g
ヘチオスミア	3.0g
アルコール	300.0g
蒸留水	20.0g

二、化学合成調剤ノ干ノ

原料	
ベンチールアルコール	5.0g
ゼラニオール	.2.0g

シトロネラル	1.0g
イオノーシ	4.0g
ムスクゲトシ	5.0g
ワニリン	2.0g
シベツト精	3.0g
桂アルコール	6.0g
アミールサリシレート	2.0g
ジヤスマノール	5.0g
アルニール	300.0g
蒸留水	20.0g

三、簡易法

原料	
ターピノール	3.0g
シベツト精	2.0g
ジヤスマノール	5.0g
アミールサリシレート	1.0g

フェニールアルコール	6・0g
ネロール	2・0g
ゼラニオール	1・0g
アルコール	200・0g
蒸餾水	20・0g

尚ホ、ヨリ以上簡單ニセントスルナラバ、ジャスミンハ其香元、ジャスメノールガ合成  
サレ居ル事ナレバ、之ヲ用ヒテ造ル事ガ出來ル。

ジャスメノール	8・0g
クマリン	2・0g
アニリン	3・0g
シニツト精	3・0g
大茴香油	2・0g
桂アルコール	2・0g

諸君ハ常ニ天然花ヲ見タル時ハ、必ズ其香匂ヲヨク翫味シテ、コレヲ頭ニ殘シ置キ、又  
多クノ香トノ比較差異ヲ考察シテ置クヲヨシトス。

### 講師

前衆議院議員  
本會講師 坂本一角

## 第九講座 化粧品關係法規解説

化粧品製造化學研究學會編

# 第九講座 化粧品關係法規解説 目次

## 緒言

### 第一章 一般製造發賣ニ關スル法規

- 第一項 部外品發賣ニ關スル法規
- 一、 賣藥部外品發賣免許規則（内務省令）
- 二、 同 施行細則（警視廳及ビ大阪府令）
- 三、 免許願書ノ書キ方
- 第二項 化粧品及ビ髮油發賣ニ關スル法規
- 一、 化粧品發賣免許規則（内務省令）
- 二、 同 施行細則（警視廳及ビ大阪府令）
- 三、 免許出願書ノ書キ方ト出願ノ要領
- 第三項 製造ニ關スル諸制限法規
- 一、 色素使用ニ關スルモノ

第九講座 化粧品關係法規解説科

- 二、 第五改正藥局法中、普通藥品規定
- 三、 劇、毒物使用ニ關スルモノ
- 四、 藥物極量ニ關スル一覽
- 五、 藥物溶解ニ關スル一覽
- 第二章 新案、專賣ニ關スル法規拔萃
- 第三章 販賣、契約ニ關スル法規拔萃
- 第四章 美容師試験及ビ開業規定
- 第五章 理髮師試験規定

## 緒言

吾人ハ常ニ、形而上の崇高ナル理想ニ生キ、人間本然ヨリ沸キ出ヅル、眞善美一如ノ道德的觀念ノ下ニ、製造シ販賣セン事ヲ目的トスルモノデアルガ、一定ノ手續キ法ヤ、藥物ノ取締法ハ、之ヲ心得テ置カナケレバ、常ニ製造販賣ニ不便ナバカリデナク、免許申請ニ不備ヲ免レナイ。

特ニ必要ナルモノ及ビ參考トナル可キモノヲ章ヲ追フテ列記スルカラ一讀シテ、時々必要ニ應ジテ索引參照セラレタイ。

化粧品及ビ賣藥部外品ノ製造販賣ニ關シテハ、一品即チ一方毎ニ、警視廳又ハ府縣廳ノ製造發賣免許證ヲ要スルノデアツテ、同ジク化粧品ニテモ、皮膚障害ノ豫防、若クハ除去（賣藥部外品取締規定第一條一項）、皮膚組織ノ變更（同三項）、脱毛ノ防止、毛生、除毛又ハ染毛（同第四項）ニ關スル藥品ヲ加味セラレタモノ、又ハ効能ヲ有スルモノハ、賣藥部外品ト目サレル。單純ナル化粧品トシテハ、唯單ニ、衛生ヲ保チ、皮膚ヲ清潔ニシ、肌ヲ美シクスル程度ヲ以テスルノデ、今日ノ進歩セル化粧品ノ目的効能原料藥品ヨリ考察スレバ、如何ナル化粧品モ殆ンド今ハ部外品トシテノミ存在シ得ルト云ハネバナラス。

施行細則ニ明記サレテ居ル如ク、化粧品ニハ不用デアルガ、部外品ニハ一品(一方一願)ニ付金二十銭ノ手数料ヲ申請書及ビ見本ト同時ニ前納スルヲ要スルノデアアル。

約一ヶ月後口頭試問、及ビ訂正ヲ經テ(呼出シテ受ケ出頭ノ上)規定ノカード式免許證ガ下附セラレテ發賣ガ出來ルノデアアル。

發賣ニ當ツテハ各品ノ各個ニ營業住所ト氏名又ハ代表名例ヘバ何々本舗、何々研究所製ト云フ様ナ名稱ヲ記載シタ、責任ベーパーヲ貼ル事ニナル。部外品ニハ特ニ部外品ナル文字ヲ責任ベーパーニ記載スルヲ要スルノデアアル。

化粧品ニ付テハ、三ヶ月ニ一回以上、部外品ニ付テハ毎月一回以上、其主タル營業所ヲ所轄スル警察ノ警察官ニ依ツテ臨檢セラレル。

以下條ヲ起シテ規則ヲ列記シ、注意事項ヤ解説ヲ試ミン。

## 第一章 製造發賣ニ關スルモノ

### 第一項 部外品發賣ニ關スル規定

一、賣藥部外品取締規則(内務省令 昭和七年八月改正)

第一條 本令ニ於テ賣藥部外品ト稱スルモノハ左ノ各號ノ一ニ該當スル効能アリト

スル物及ビ内務大臣ノ指定シタル物ヲ謂フ

- 一、疾病ノ豫防又ハ皮膚障害ノ豫防、若クハ除去
- 二、滋養、強壯、心身爽快、又ハ身體諸機能ノ増進若クハ抑止
- 三、皮膚組織ノ變更、又ハ體臭ノ防止
- 四、脱毛ノ防止、毛生、除毛又ハ染毛

第二條 賣藥部外品ヲ發賣セントスルモノハ、品名、原料品及ビ其分量、用法、用

量、並ニ効能ヲ記載シ、見本品ヲ添へ、主タル營業所々在地、地方長官

(東京府ニアリテハ警視總監以下之ニ倣フ)ノ免許ヲ受クベシ

第三條 前項ノ免許ヲ受ケタル後、賣藥部外品ノ品名、原料、若クハ其分量、用法

用量、又ハ効能ヲ變更セントスルトキハ前條ノ指定ニ準ジ、更ニ免許ヲ受クベシ、但シ原料品、又ハ其分量ヲ變更セントスル場合ヲ除クノ外、見本ヲ添フル事ヲ要セズ

第四條 賣藥部外品發賣者、其主タル營業所ヲ變更シタルトキハ、十日以内ニ後ノ

主タル營業所所在地地方長官ニ届出ヅベシ

前項ノ届出ヲ受ケタル地方長官、前ノ主タル營業所所在地地方長官ト異ナ



第五條

ル場合ニ於テハ、前ノ主タル營業所所在地地方長官ニ其旨通知スベシ  
賣藥部外品免許ハ之ヲ讓受ケ又ハ相續スルコトヲ得  
賣藥部外品免許ヲ讓受ケ、又ハ相續シタル者ハ讓受ケ又ハ相續シタルトキ  
ヨリ十日以内ニ主タル營業所々在地方長官ニ届出ヅベシ  
前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六條

賣藥部外品ハ其容器又ハ被包ニ賣藥部外品ナル文字、品名、及ビ發賣者ノ  
氏名（法人ニ在リテハ其名稱）、又ハ商號、並ニ主タル營業所々在地ヲ明記  
シタルモノニ非ザレバ之ヲ販賣スルコトヲ得ズ

第七條

但シ、輸出又ハ移出スル賣藥部外品ニ付テハ此限リニ在ラズ  
地方長官ハ衛生上ノ危害ヲ生ズル虞レアリト認ムルトキハ發賣者ニ對シ賣  
藥部外品ノ原料品、若クハ其分量、用法、用量、又ハ効能ノ變更ヲ命ズル  
コトヲ得

第八條

地方長官ハ第二條若クハ第三條ノ規定又ハ前條ノ處分ニ違反シテ販賣スル  
賣藥部外品ニ關シ、明治三十三年、法律第十五條第一條ニ依リ處分スルコ  
トヲ得

第九條

本令又ハ本令ニ基キテ爲シタル處分ニ違反シタル營業者ニ關シ亦同ジ。  
地方長官ハ本令ノ執行ニ關シ、明治三十三年法律第十五號第二條ノ職權ヲ  
行フコトヲ得

第十條

左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ百圓以下ノ罰金又ハ拘留又ハ科料ニ處ス  
一、第二條若クハ第三條ノ規定ニ依リ免許ヲ受ケザル賣藥部外品又ハ第二條若  
クハ第三條ノ規定ニ依リ提出セル見本品ニ適合セザル賣藥部外品ヲ發賣シ  
タルモノ。

二、第四條第一項、第五條第二項又ハ第六條ノ規定ニ違反シタル者

三、第七條ノ規定ニ依ル處分ニ違反シタルモノ

第十一條

營業者ガ未成年者、禁治産者又ハ法人ナルトキハ、本令ノ罰則ハ其法定代  
理人又ハ代表者ニ適用ス  
但シ其營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限リ  
ニアラズ 營業者ハ其ノ代理人、戶主、家族同居者雇人其他ノ從業者ニシ  
テ其ノ業務ニ關シ本令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以  
テ處罰ヲ免カル、コトヲ得ズ

第十二條 賣藥法又ハ藥品營業並ニ藥品取扱規則ノ適用アル藥物ニ付テハ第一條各號

ノ一ニ該當スル効能アリトスルモノト雖モ本令ヲ適用セズ

附 則

本令ハ昭和七年九月一日ヨリ施行ス

本令施行前廳府縣令ニ依リ免許ヲ受ケタル賣藥部外品ハ本令ニ依リ免許ヲ受ケタルモノト看做ス

本令施行ノ際現ニ發賣スル賣藥部外品ニシテ前項ニ該當セザルモノハ其發賣者ニ於テ、

本令施行三ヶ月以内ニ第二條ノ規定ニ依ル手續キヲ爲スベシ

本令施行ノ際、現ニ存スル賣藥部外品ニ付テハ第六條ノ規定ハ昭和八年八月三十一日迄之ヲ適用セズ

以 上

二、賣藥部外品取締規則施行細則

A、 全警視廳令（昭和七年八月改正）

第一條 賣藥部外品取締規則及ビ本令ニ依リ警視總監ニ提出スル申請書及ビ届書ハ

美濃紙ヲ用ヒ、主タル營業所所轄警察署ヲ經由スベシ

第二條 本令ニ依ル申請人及ビ届人ニシテ未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ法定代理人準禁治産者ナルトキハ補佐人、妻ナルトキハ夫ノ連署ヲ要ス

第三條 規則第二條ニ依ル賣藥部外品發賣免許申請書ハ同條ニ掲グル事項ノ外左ノ事項ヲ記スベシ

一、住所、氏名、生年月日（法人ニ在リテハ其名稱、事務所所在地代表者ノ氏名及ビ、定款ノ寫）

二、主タル營業所

第四條 規則第二條ニ依リ免許シタル月ハ別記様式ノ免許證ヲ下付ス

第五條 規則第三條ノ部外品變更免許申請書ニハ變更セントスル事項及ビ第三條各號ノ事項ヲ記シ免許證ヲ添附スベシ

第六條 免許證ヲ毀損亡失シタルトキハ其事由ヲ具シ十日以内ニ免許證ノ書換又ハ再下附ヲ申請スベシ

亡失シタル免許證ヲ發見シタル時ハ直ニ返納スベシ

第七條 部外品ニ關シ左ノ手数料ヲ徴收ス

一、規則第二條及ビ第三條ニ依ル發賣免許並ニ變更免許手数料一方ニ付金二十

二、名義書換並ニ毀損、亡失再下附ノ手数料一回ニ付金十錢

第八條 前條ノ規定ニ依ル手数料ハ現金又ハ郵便爲替證書ヲ以テ警視廳官房會計課

ニ納付スベシ

既ニ納付シタル手数料ハ如何ナル事由アルモ之ヲ還付セズ

第九條 規則第四條ニ依ル、主タル營業所變更届ニハ品名、前營業所及ビ第二條各

號ノ事項ヲ記シ免許證ヲ添へ後ノ主タル營業所々轄ノ警察署ヲ經由スベシ

第十條 規則第五條ノ讓受又ハ相續ノ届ニハ免許事項寫シ及ビ第二條各號ノ事項ヲ

記シ免許證ヲ添へ、讓受ノ場合ハ双方連署シ、連署シ能ハザルトキハ其ノ

理由ヲ記シ、相續ノ場合ハ戸籍抄本ヲ添付スベシ

第十一條 部外品ノ發賣者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ十日以内ニ免許證ヲ添へ届

出ヅ可シ

一、住所、氏名（法人ニ在リテハ其名稱事務所々在地）ニ異動ヲ生ジタルトキ

二、發賣者ノ法定代理人、補佐人、又ハ夫ニ異動ヲ生ジタルトキ

三、發賣廢止シタルトキ

四、死亡（法人ニ在リテハ解散）又ハ失跡ノ宣告ヲ受ケタルトキ

前項第四號ノ場合ハ戸籍法ニ依ル届出義務者（法人ニ在リテハ清算人）ニ

ヨリ其手續ヲ爲ス可シ

第十二條 第六條又ハ第十一條ノ規定ニ違反シタルトキハ拘留又ハ科料ニ處ス

第十三條 營業者ガ未成年者禁治產者又ハ法人ナルトキハ本令ノ罰則ハ其法定代理人

又ハ代表者ニ適用ス

但シ其營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此限りニ非ズ

營業者ハ其代理人戸主家族同居者雇人其他ノ從業者ニシテ其業務ニ關シ本

令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ處罰ヲ免カル、コ

トヲ得ズ

附 則

第十四條 本令ハ昭和七年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十五條 大正五年四月警視廳令第四號賣藥部外品營業取締規則ハ之ヲ廢止ス

第十六條 規則附則第二項ニ該當スル部外品ニシテ大正五年四月警視廳令第四號賣藥

部外品營業取締規則ニ依リ下附シタル免許證ハ本令ニ依リ下付シタルモノト看做ス

B、全大阪府令施行細則（昭和七年八月改正）

第一條 賣藥部外品ヲ發賣セントスル者ハ規則第二條ノ規定ニ依ルノ外左記事項ヲ具シ當廳ノ免許ヲ受クベシ

一、本籍、住所、氏名、生年月日（法人ニ在リテハ名稱、事務所々在地、代表者氏名）

二、營業所及ビ製造所ノ位置

第二條 規則第三條第五條ニ依リ提出スル書類ニハ免許證ヲ添付スベシ

第三條 免許證ヲ毀損又ハ亡失シタルトキハ其事由ヲ記シ十日以内ニ再下附ヲ申請スベシ

第四條 他府縣ニ於テ免許ヲ受ケタル賣藥部外品ノ販賣所ヲ設ケタルトキハ五日以内ニ左記事項ヲ當廳ニ届出ヅベシ

一、本籍、住所、氏名、年齢

二、販賣品名、並ニ其免許證寫

三、販賣所ノ位置

第五條 發賣營業ヲ廢止シタルトキ十日以内ニ免許證ヲ返納スベシ

死亡又ハ失跡ノ宣告ヲ受ケタルトキハ戶籍法ニ依ル届出義務者ニ於テ前項ノ手續ヲ爲スベシ

第六條 營業者六ヶ月以上行方不明ナルトキハ免許ヲ取消スコトアルベシ

前項ノ規定ニ依ル無効處分ハ之ヲ告示ス

第七條 規則及ビ本令ニ規定スル願届免許證返納ハ營業所々轄警察署ヲ經由スベシ

第八條 第三條乃至第五條ニ違反セル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

附 則

第九條 本令ハ賣藥部外品取締規則施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十條 明治三十二年九月大阪府令第八十二號賣藥規則外製劑取締規則ハ之ヲ廢止ス

以 上

三、免許願書ノ書キ方

一及ビニニ上掲シタル内務省令、及ビ其施行細則ニ基イテ免許願書ヲ作成スルノデアルガ、申請ニ關シテ、注意スベキニ・三ヲ述ベルナラバ、先ツ免許ヲ容易ニ得ルニハ化粧品及ビ部外品共各法規ニ該當シテ、申請書ノ整然トシテ居ル可キハ當然デアルガ、可及的クダシクナク簡單明瞭ヲ第一トスルノデアル。

時ニ法規ニ該當シテ居テモ、容易ニ許可サレヌ場合ガアルガ、ソレハ特ニ部外品ニ於テ既成ノ賣藥藥料ト似通ツテ居ルト云フ子姑ガアルカラデアル。

從ツテ、免許ノ申請ニハ、可及的、主藥原料ノ分量ヲ控ヘ目ニシ、又原料中ニ使用分量ノヤカマシイ様ナ藥品ヤ、反應變化ノ起リ易イ藥品ハ避ケテ、同一効果ノアル、安全ナル藥品ヲ用ヒ、効用ニ於テモ、所謂賣藥的効能書キヲナサズ、効能ヲ控ヘ目ニ半分位ニ書ク様ニシテ、一度免許ヲ得タル上、ソノ分量、ソノ効能デ不満足デアツタナラ、更メテ、成分分量ヲ増シ、又効能ノ範圍ヲ擴張シテ、免許事項變更ノ申請ヲナシ、理想製品トスルヲ上策トスルノデアル。一度ニ多量收得ヲセントシテ一物モ得ザルノ愚ヲナサル様ニ注意スベキデアル。

次ニ最モ注意スベキ事ハ、化學製品ハ調合後ニ於テ、色々ナ作用ヲ起シテ變質スル事ガアリ、又有機物ヲ含ムモノハ防腐、消毒ノ不完全ヨリ腐敗ヲ起シ、或ハ發酵ノ爲メノ變化等ヲ生ジテ、丁度試験用見本ガ衛生試験室デ、検査ノ頃ニ化學變化、腐敗、變質、内容物ノ發酵、分離等ヲ生ジテ、申請ガ却下サレル事ガアルカラ、幾回モ試験シテ、一定ノ時日ヲ經過サセ、或ハ寒冷ニ或ハ暑熱ニ逢ハセテ見テ大丈夫ナモノヲ見本トスベキデアル。然シ、文化急進ノ時代ニ、ソノナ氣永ナ事ハ出來ナイカラ、申請ニ先立ツテ、例ヘバ當研究學會ノ様ナ處デ、一應考查シテモラツテ、不備ノ点ナキ様ニシテ申請スルノガ第一デアルト思フ。

尙ホ次ニ、今日化粧品科程ノ事ガホ、決定的トナレル際ノ事デモアリ、事實今日ノ化粧品ハ、總テ單ニ顔ヲ美シクシテ、ヨイ香ヒト云フ程度デハナク、悉ク皮膚其他ヲ改善スル程度以上ノモノデアアルカラ、部外品ニ屬スベキデ、出願免許申請モ、賣藥部外品トシテ申請シタ方ガヨカラウト思フ。

免許申請書ハ、美濃紙ヲ用ヒ、上方ハ二寸位、他ノ三方ハ各一寸位以上ノ餘白ヲ置キ、ハツキリト、毛筆又ハ墨汁ヲペンニ附シテ、整然ト清書スルヲ要スル、上方ニ多クノ餘白ヲ要スルノハ、訂正改變ヲ命ゼラレタ場合ニ、加字削字ノ記載ヲ要スル爲メデアリ、又各行ノ間モ整然ト間隔ヲ置キ、訂正セル場合ニ見苦シクナラヌ様ニ注意スベキデアル。

尙ホ、添納見本ニモ、一定ノ様式ニテ、明瞭ニ住所氏名品名ヲ附記スベキデアル。

左ニ賣藥部外品免許申請書ノ様式ヲ示ス。

賣藥部外品發賣免許申請書

現住所 東京市 何區 何町 何番地  
營業所 東京市 何區 何町 何番地

氏名 生年 月 日

名稱 何々クリーム

品目

分量

原料 何………

幾〇・幾グラム

何………

幾〇・幾グラム

何………

幾〇・幾グラム

用法 ……………

用量 一回ノ使用量 幾・幾グラム位

効用 ……………

右品製造發賣致度免許相成度ク及申請候也

何年 何月 何日

右

氏名 印

警視總監 某 々殿

下附サレル免許證ハ左ノ様式ノモノデアアル。

第 號

賣藥部外品免許證

營業所 東京市何區何町何番地

氏 名

生 年 月 日

名 稱

何ノ何

右賣藥部外品發賣ヲ免許ス

昭和 年 月 日

警 視 廳 印

第十講座 化粧品外裝及販賣收金法

講 師

元共同製藥株  
式會社取締役  
本會企劃部長  
講 師

田 邊 道 依

化粧品製造化學研究學會編

# 第拾講座 化粧品外裝及販賣收金法 目次

## 第壹章 化粧品及香水容器

- 第一項 硝子容器
- 第二項 金屬容器
- 第三項 セルロイド容器
- 第四項 チューブ容器
- 第五項 香水瓶ノ特種發達

## 第貳章 蓋 ト 栓

## 第參章 ペーパート責任マーク

## 第四章 個函ト打函

## 第五章 附屬諸裝飾

## 第六章 一般販賣法

## 第七章 特種販賣法

第十講座 化粧品外裝及販賣收金法科



- 第一項 宣傳販賣ノ種々
- 第二項 定期及臨時特賣
- 第三項 委託販賣法

### 第八章 代金回収ノ諸方法

- 第一項 普通收金ノ諸方法
- 第二項 特種收金ノ諸方法

## 第十講 本旨及ビ執筆者ニ就テ謹告 編輯部

文化ノ急テンボナル變遷ト流行ハ、特ニ化粧品ノ容器外装ニ於テ、現今婦人ノ服裝以上ニ急變美化サルベキモノニシテ、此点カラ見テモ編輯部ハ本講座擔當講師ノ人選ニ苦心スルモノニテ、又收金ノ方法、販賣ノ方法、宣傳ノ方法共ニ今日國內一般ノ化粧品製造元及ビ其販賣店ノナシツ、アルモノハ平凡、何レモ同様ニシテ一頭地ヲ抜クモノナシト云ヒ得ル次第アル。

如何ニ優良原料ヲ以テ、如何ニ實効アリ且ツ面目一新ノ製品ヲ得タレバトテ、敢テ奢飾ノ必要ハナクトモ、清楚斬新ニシテ、一目直チニ其内容ノ新味ト効果的眞價ヲ直感セシムルヲ得ルダケノ、新装セル容器ハ必然的ニ缺クベカラザル同伴者デアツテ、實ニ容器、外装、販賣方法、收金方法ノ如何ハ直チニ製品ノ全生命ヲ支配スルモノト云ヒ得ル。

如何ニ有能敏達ノ士ト雖モ、ソノ婚約ノ相手方ヲアヤマツテ、アタラ一生ヲ失意ニ送ルモノアルヲ思フノ時、益々コ、ニ重大性ヲ思ハザルヲ得ナイ。

從ツテ、本講座ハ企業者ニトツテ又製造販賣ヲナサントスル者ニトツテ、本命の重大ナル事項デアリ、會員諸士ニ對シテ、當研究學會ノ重大責任ヲ痛感スルモノデアアル。

依ツテ、本研究學會ハ非常ナル熱心ヲ以ツテ、最近是等ノ新研究ノ爲メ洋行セラレタル著名ノ大家ト折衝ヲ重ネ、漸ク然ル可キ人ヲ選定シテ、本講座ノ担当ヲ委囑セル爲メ遂ニ第一卷ニ間ニ合ハズ、第二卷ヨリノ本誌上ニ於テ、會員諸君ノ偉大ナル成業ノ好伴侶トシテ、會員諸君ノ目ヲ新シクシ、大業成就ノ緒ヲ開カントスルモノデアアル。

如上ノ次第ナルヲ以テ、當會ガ如何ニ實際ニ即シ責任的講述ヲ贈ツテ、眞ニ諸君ノ指導者トナリ好同伴者タラント苦心シツ、編輯セルヤヲ知ラレン事ヲ希フ次第デアアル。

第十講ノ遅延ノ理由ヲ記シテ、牛頭狗肉ニアラザル事ヲコ、ニ釋明シテ、第二卷ニヨツテ、會員諸君ノ驚歎ト満足トヲ得ント欲スル次第デアアル。

◎心ノ成長!! 貴郎ノ生活基根ハ安定也

外科附録 化粧品化學イタスム 第一卷第一號

テッ從ニフ追ヲ卷

諸大名家ノ講話

ハ諸氏ヲ啓發ス

科外奉仕

- ◎科外講話・時評
- ◎質問應答
- ◎公開及秘密研究、製造指導
- ◎美容相談
- ◎免許開業就職斡旋
- ◎寄稿規定
- ◎會則

化粧品ノ文  
化的産業的  
開發的使命  
ヲ果スト共  
ニ精神ヲ爽  
快ニ感情ヲ  
豐潤ニ保健  
ヲ完フシ美  
的生活ノ向  
上心情ノ高  
尙化ニ最良  
ノ武器ナリ

◎美ノ達成!!! 貴嬢ノ美ト經濟ハ永遠也

## 美肌と基礎劑の研究

サロメ本舗主 賀川 寛

美容と云ふ事は單に目鼻立ちを美しくするのではなく、身體全體を美しくする事でありまして、如何に目鼻立ちが美しくても、肌に潑刺とした健康美が無く全身の姿態美が調和してなかつたならば、美人としての資格がない譯であります。

昔は瓜實顔柳腰で、なよ／＼と歩く姿は百合の花と云つて、小村雪岱氏のさし畫の様なのが代表的美人でありましたが、又一方、腰は礪白で足は杉丸太背は團栗と云つた様な不調和な姿でも、目鼻立ちが普通で、巧者にお化粧をしこなし醜惡を塗りつぶし居れば、人なみの顔をして歩けたものですが、時代の要求は美の觀念が進歩するにつれて、全體の均勢に重きを置き、健康美と云ふことを唱へる様になり、目鼻立ちも左程でなく共、腕、足腰等の曲線美にチャームを有つ人や、色白で七難隠す緊張した朗かな人や、生々とした愛くるしい人好きのする感じの人は、立派に容姿端麗の代表的美人の資格者であります。

斯く申せば、美人となるのは洵に至難の様に考へられますが、最近の進歩した美容法は頭から足の尖まで種々の方法が行はれて居り、醫療による整形術も發達して總ての醜惡を匡正することが出来、又美肌の方法も非常に研究されて居りますから、團栗型や肺病型でも烏肌や鮫肌でも決して悲觀することはありません。僅少の注意と幾分の耐忍努力を拂へば容姿端麗の仲間入りが出来るのであります。

生れて間のない三つ子の皮膚は、洵に麗はしく全く珠の様な自然美を現はして居りまして、生れながらにニキビや吹出物の出来た赤ちやんはありません、これが人間本來の自然美肌なのであります。

三つ子時代の皮膚は、成長するに従がつて外部の刺戟や、体内の種々の障礙から、天然の美を減退して皮膚面に異状を呈し、種々の現象となつて現はれるのであります。

通俗的に皮膚の外表を肌と云ひますが、皮膚は身體の一部である以上、その美醜は身體の健康状態によつて左右せられ、又身體の健康は血液によつて保たれるのでありますから血液の清濁は皮膚の美醜に關係すると云ひ得るのであります。

血液の循環は、僅かに三分間以内で全身を一週する速度で肉體を養つて居るのであります。その血液を濁らす原因は種々ありまして、直接の原因としては胃腸障礙、月經不順

便秘、遺傳梅毒等であります。尚睡眠不足や、精神過勞も、又身體各部の機能障礙を來たして血液を濁らし、皮膚美に異狀を起すもので、睡眠不足の翌朝や、精神過勞の時は、一目顔色をみても直ぐに判明することが出來ます。又胃腸障礙から起る黃疸病の如きは、糞便の色素を血液中に逆送して皮膚の色まで黄金色を呈する様になるのであります。

その他ニキビ、吹出物、ソバカス等一般に知られた皮膚障礙も、體内の異狀から起るものも多く、皮膚外表だけの手當では容易に根治することが出來ぬ場合がありますから、身體の健康即ち血液の清濁は直ちに皮膚美に影響して行くことが明かである以上は、美人となる條件としては、血液を淨化する健康方法を取ると共に、皮表の手當を施し精神的にも肉體的にも生き／＼とした體質を作る必要があるのであります。

體內的のことは専門外でありますから、皮表の手當即ち肌の美容法に使ふ美肌劑のことを述べますが、皮膚は呼吸作用、吸收作用、分泌作用等を間斷なく行つて居るもので、これが完全に營まれて居る時は皮膚の健康状態にあるのであります。汗、垢、塵其他不潔物が附着して、皮膚の三作用を妨害した時は皮膚に故障を起すのであります。

皮膚に化粧を施すときは、皮膚障礙を起す妨害物を取り除いて、皮膚の作用を健康状態にする必要があるのので、先づ第一に皮膚を淨化する基礎劑を使用せねばなりません。

皮膚の淨化作用をする美肌基礎劑はアルカリ、酸、脂油、グリセリン等でありまして、今其大體を説明すれば、

◇アルカリは酸性を溶解するもので、汗、汚物等の腐敗による有機酸類を溶かして除去することが出來ます。

◇酸はアルカリを溶解して皮膚の垢を去り又殺菌力を持つて居ります。

◇脂油は皮膚から分泌する皮脂を調整し、皮表を柔かくし冷寒や風水による荒れを防ぎ保温性を有つて居ります。

◇グリセリンは皮膚の水分を吸收し皮膚を滑かに光澤を出し、又色素を除去する爲め肌の色を白くする不揮發性のもですが、皮膚の性質によつては濃度が強いと反つて皮膚分を吸収し過ぎて肌を荒らすことがあります。

以上の各劑は皮膚美の基礎劑でありまして、一般に使用されて居るクリームや化粧水はこれ等の藥劑を適當に配合して製造されるのであります。その製造法は種々ありまして各講座で詳述せられる筈であります。

要するに美肌を希望する者は、これ等の基礎劑を以て皮膚美を發揮させるのであります。が、さて自分の皮膚は如何な状態であるか、如何なる基礎劑を使用したならば良いかと云

ふことを研究せずに、むやみに人が使ふから使ふとか、高價なものだから良いだらうと云ふ様な、雷同的な非理智的なことは、現代人として賢明な方法ではないと思ひます。又その使用方法も各人の状態によつて異なるもので、その邊も常識的に考究せねばならぬのであります。

左に皮膚状態の相異した二・三を擧げてその手當の例を述べると、

一、きめの荒い人

きめの荒い人は大體脂肪過多ですから脂肪を取り去る方法として特殊な脂油性のクリームを塗り後を好く拭き取り、皮脂分泌の調整をなし、ホワイトハニーでマツサージをなし、酸性の化粧水若くは瓜類、レモン、柑橘類の果實液を脱脂綿に含ませて數回軽く拭く様にすれば非常に効果的です、又バニシングクリームは水分の多いものを選ぶこと。

一、荒性の人

毎晩純良のコールドクリームで皮膚を清淨した後、オリーブ油を微温程度に温めて皮膚に浸み込む様につけ、翌朝コールドクリームを擦り込みガーゼで拭き取つてから洗顔すること、石鹼は禁物、可成不揮發性の化粧水を使ふこと、又バニシングク

リームは可成水分の少ないものを選ぶこと。

一、ソバカス、シミのある人

産前産後、貧血等體內的の障りから來ることが多い故、その治療をすると同時に、皮表の障り箇所を常にホワイトハニーでマツサージをなし、オキシフルを二倍に薄めて脱脂綿に含ませて押す様にしてつけ、あづき洗粉か硼酸水を微温にして洗顔すること、又玉子の自身を指尖につけ圓をかく様にしてマツサージをなし、乾いて硬ばる様になつてから微温で洗ひ去ること。

以上は卑近の例ですが、いづれも氣永に毎日つゞける丈の根氣が必要でありまして、自分の體質や皮膚の状態を研究して、それに適合した基礎工作を行ひ、適當の運動と榮養を取り、體内の健康と相俟つて潑刺とした健康美を保つこそ、女性唯一の幸福であると信じます。

(終)

ドーソビエ

八王子に百姓のありける。その畑にもせる赤瓜をトラツクに滿載し、かねて化粧水として、重要さるゝを思ひて、それがしの大化粧品店に持ち行けるに、糸瓜は名のみ、薬品合成による品には、要こそなけれ。主人只啞然として、有名に恥づ、百姓また、あぶはちとらずに終り、すこゝと歸りたりとぞ。

(巷漢兒)

## 讀者ニ對スル責任

本會經理 河越朝彌  
部長講師

巷間、化粧品香料ニ關スル書ニ乏シクハナイ。然レドモ、未ダ嘗テ讀書、獨習ヲ以テ製造シ得タルモノ無ク、常ニ聞ク處々、學者ニヨル香粧學ノ本ハ難解ニシテ只徒ラニ頭腦ヲ苦シメ、通俗製造手引ノ書ハ熟讀シテ試製スルモ、出來上リハ似テモ似付カヌモノトナツタト云フ愚痴甚ダ多數デアアル。甚シキハ高價ナル代價ヲ支拂ヒ、物ニ成ラヌ傳授ヲ受ケタ人サヘアル。爲メニ、本會ニ講師トシテ、毛髮關係ノ講座分擔ヲ引受クルニ先立ツテ、私ハ或書ノ處方ニ依テ、研究部長ニ試製ヲ依頼シ、其現場ニ臨檢シ、私自ラモ、拙宅ノ臺所ニ於テ、パニシング・クリームヲ試製シテ見タ處、今日迄購入使用セル以上ニ使ヒ心地ノ良イ物が多量ニ、且ツ安價ニ出來上ツタノデ、驚キト喜ビト自信トヲ感ズルト共ニ、同人諸兄ノ努力ノ程ニ感銘シ、私ノ方カラ熱誠ヲ持ツテ協力ヲ契ヒ、喜ンデ一科ノ分擔ヲ負フタ次第デアアルカラ、自分ノ今日迄體得シ得タ學識ト身體ノ續ク限リノ努力ト勇氣トヲ以テ、讀者ノ一顧問トナリ、熱誠以テ本會ノ爲メ諸君ノ爲メニ粉骨ヲ誓ツテ、御挨拶ニ代ヘル次第デアアル。

## 生む者の苦しみと喜び

本會贊助員 牛窪旭鵬

御婦人が一人の子供を産み出すには十ヶ月の永い苦心が要る。

其子の天性の良質は孕りの間の其婦人の修養と努力に待たねばならぬ。そして胎内に形造られた子は生死を塔した女性のみが知る大きな苦しみと力とに依つて生れ出て、立ち上る迄は母の懷に一時半時もいつくしみを受けずには育たないと同時に、日一日と延び行く我子のいたいけな姿は、親のみが知る何よりも大いなる喜びである。

私は丁度、今から十ヶ月前、平田氏を訪れて、彼がペンと原稿紙に文字通り寢食を忘れて、しかみ着いて居るのを見た。二ヶ月後、五ヶ月後、七ヶ月後、何時訪れても、彼はベンを放さない、其努力、其熱誠、十ヶ月目に訪れた時、彼は二千枚に餘る原稿の書上げの前に「漸やく出來ました」と苦しげな、しかし光に燃えた眼を笑ました。彼は遂に六人の子を生んだのだ。即ち六卷の講座録は脱稿されたのだ。

私は何事を措ても、産婆役を勤め其子を育て上げて世の中へ送り出さうと決心を定め、生みの親を援け乍ら一ヶ月、遂に本會の成立と共に、其子等の時代の寵兒として全國至る處から迎へらるゝを見て、心から喜び祝するものである。

## 化粧品科の組織と

### 一科の獨立

平 新 吉

最近女性の社會進出と共に化粧品香製品の需用が猛盛になり、之が製造を業とするもの又業とせんとするもの多く、諸工場林立して正に空前の盛況を呈して居る。

尙ほ我が國商業の世界進出と共に、化粧品の海外輸出もやゝ見る可きもの有る様になつて來た。しかし其何れもが品質や使用効果に於て遺憾ながら、他に卓越せる何物をも見出し得ない。のみならず、今日の見本的輸出の却つて將來に於ける多量進出を阻止する悪因をなさんとするの概がある。國內に於てさへ、一部インテリ婦人に

依つて有名無價値を叫ばれつゝある。

何故にかゝる結果をまねきつゝあるやを思ふに、其製造技術者なるもの、素質より考ふれば、當然過る程當然である。今は工場又は自家製造の衝にあたる人々の多くは何等根底なき傳習的模倣者か、或は藥學士理學士工學士の類にして、或者は藥物的專問に、或者は分析合成の技術に、或者は化學の應用に專問的に偏倚し、いづれも他製品の模倣以上に出づる、創造的實力を有するものが無い。

従つて膨大なる廣告費を費して、尙殆んど委託的販賣に甘んじ、其販賣にあたるものも實質の權威なき爲め叩頭の態度と景品付特賣の名を以て、景品の大小によつて販

賣成績を左右せらるゝ有様である。

其結果は製造品の二割にも當る廣告費、宣傳費を支出し、二割は卸扱店の報酬と景品代となし、二割を小賣販賣者の當然の利益とし、一割を運賃及び回收迄の金利並に經費とせんか、残る三割によつて、其一割を利益と工賃に、一割を容器と外装とに、最後に残されたる一割のみが、漸やく其原料と香料代たるの感がある。大生産工場は出品がかうしたものであつたならば……如何に多くの博士を一堂に會せしめ、研究苦心せしむるとも「無より有を得るの途」なきは、もとより論なき所である。

今や化粧品界は、文字通りの非常時であり根本的更生の時機に直面して居る。此非常時をなだらかに解決し、更めて世界的創

作による實力に生きさせる爲めには、よみの日の來る前、以て完全な一科學を創立して、先づ基礎を養ひ、堅實なる實力ある製造者を拵へて行かねばならぬ。

此意味で此講義録は偉大なる力であり、又糧であると云へよう。

新しい人によつて近く、理想的な實質本位の化粧品は手工業的に造り出され、自然に従つて自然人をよりよく美化し、自然の芳しき花園に別け入つて、化學に立脚して化學を超越し、更に哲學の境にふみ入つて天來の女神像を創造し得られるであらう。そして製造者そのものは、藝術家と醫者の境地で、實効が宣傳となり、多くの冗費は無用になり、賣價の半分は、製造者の當然なる藝術上、醫療上の報酬となるのであらう。

## 新時代の日本女性に 化粧の更生を求む

▲昭和の彦左衛門 M 生

「昔戀しい、銀座の柳」……………

僕が大學を出た頃の皆さん女性の姿は、實にデリケートな、そのもの自體が藝術であつた。自分はこの美しい日本女性に一生をさへげて悔いだけの自信を以て、東洋の誇りとして、世界人を日本女性の脚下に跪座させようと云ふ強い決心で、化粧品の研究を始めて十餘年は経過した。

處が、僅か研究室でばんやりして居た内に日本女性は急轉歩で、頭腦は獨乙婦人イ

ンテリー振りをして、顔はバリー場末の娼婦ぶりを、姿は米國西岸のインデアンサーカス振りに變裝病變して、所謂復興された新銀座の歩道を病熱患者が矮小貧弱な假裝行列をして押し歩い居る様になつたのです。

氣の弱い僕は、最早や一步も出歩きたくない感慨に捕はれ、一人絶望の内に黙々として日を送つた——而しどう考へても之が日本女性の文化の眞の姿とは思へない。

丁度四月の半、日本特有の櫻の煙る様にたなびいた京濱國道をドライブして、英國歸りの友人Kを波頭に迎へに行つた時、下船客の内に、はからずも僕が會話の先生として特に親しんだ、オックスフォード出身の純英國淑女であるS嬢がすてに中老婦人

になつて、再びにこやかに日本を訪れたのに出逢つた。

「先生！ しばらくです、よく再度日本を訪れて下さつたですね、僕は昔のM大學のHですが」

「まあ！ よく出會ひました。其後歐州諸國を歴遊しましたが、どうしても美しい日本と日本婦人の高尚で清楚な、したしみ深い眞身さが忘れられずに、餘世を日本で送らうと思つて來ました。日本もあの頃と異つて文化も進み、東洋の盟主となつた事をお祝ひします」 「有難う、先生！ 又昔のガレッヂボーイになつて、先生のおともをして、茶を飲みに参りませう、そして英國婦人の化粧の話でも伺ひませう」 「マア！

化粧品、妙な趣味を持ちましたね」

所用に二周日を経過した。氣分の晴れやかな午後、私はS婦人を帝國ホテルに訪れた。快活で話好きな彼女はソファから飛び上つて迎へる事を昔の童貞に歸つて豫想しながら満心の喜びを躍らしてノックした。處が、處がです、自分の豫想は裏切られた。僕を迎ひ入れた彼の婦人は、昔の快活な先生でもなく、名状しがたい程の不快と苦痛を無理に隠した懊惱の内から、無理に造つた笑顔であつた。二人の會話もなんとなくタッチらない空虚な世間話に終つたが、僕は唯單に永い旅の疲れだと思つて居た、やがて復興の銀座へでもと思つて彼女をさそつた。



「四五日前に散歩しました。私は二三日内に英國へ歸ります」

しばらくは其あまりの不機嫌に自分の耳を疑つた。

「それは本當の事ですか、何故に？」

「あまりに日本は變化しました、申上げますまい、失禮にあたりますから、私は歸ります故國へ、いそいで」

「ア！」

その瞬間僕の腦裏に煌いたのは何んであつたでしょうか？

「昔、戀しい銀座の柳……………」

x x x

「先生、昔の教へ子の僕です、僕には先生の失望の大體が察しられるのです、他言は

しませんから先生の新興日本に對する感じを話して聞かせて下さい」

「よく言つてくれました。實はMさん、日本は何處へ行つてしまつたのですか？ 此の十年の間に！ 日本の女性は何？」

僕の十年苦んだ同じ問題は茲に語り出されたのであつた。其大意は次の様である。

極めて上品な佛蘭西料理の一・二品と純粹な美しい日本固有の料理であつた食事はロンドンの場末の酒場の料理に變つた事。

極めて質實で口重かつた、英國貴族の命令の如き應接者が、米國の安宿の客引きの様に變つた事、極めてしとやかな内に尊嚴を持ちながらやかであつた社交婦人會の代表はサーカスの口上使ひの様な姿と句調で日英

親善の事を讀み上げて歸つた事。極めておちつきのあつた銀座行く人の姿が……………」

あとは此英國貴族出である彼女の口には語り得ない醜惡そのものである。

もしや毒蛇の血で唇を染め、狼の瞳を輝した妖魔の女等と、人肉をあさるギャング男の喜劇旅役者に扮した一團の塊磊によつて、日本人は食ひ殺されてしまつたのではないですかと、聞く彼女の面には、日本への旅路を誤つて見知らぬ妖魔の國へたどり着いた様な、不思議と恐怖の色がありありと現はれて居た。

僕は何んとも辯解が出来ない、事實は事實として否む事が出来ない。

さうした外装の内に宿る心そのものが、

もしも此様に虫蝕ばれ盡したらと、寒氣を覺える程である。

僕は昭和の彦左衛門になつて、聲を揚げて皆さんに直諫せざるを得ない。

◎先づ赤裸に歸つて肉體の根本更生より。

凡そ世の中に最大危険は他人の好意を空賣みして自己の準備を怠るより大いなるは無い。凡そ世の中に最大危険は他人の見真似、口真似をして、自分自身の本體を忘れ去るより大いなるは無い。

共に必ず大いなる危禍の伴ふ事あるを痛感する。

現代の御婦人は、内外化粧品塗料を空頼みして白色人種の見真似口真似をして、日本人として立派な特色と之を向上させる準

備とを忘れて居る。

もし黄色人種であり、日本人種である事があいやならば、根本的に更生して、完全なる東洋の白人種におなりなさい。

決して皆さんの自由意志を束縛するものではない、而しエ體の知れぬ妖魔は文化の時代に其存在をゆるす事は出来ません。

外人から侮りを受けるのも當然です。

眞に人種としての優越権を持ち、眞に自然に即した明朗な色艶を現す爲めには、肉體の根本攝養と共に、眞の化學的實効的の化粧品が必要とされるのである。

皆さん、自分自身の飾りけの無い眞裸身の土台から改造して行く爲めに、赤裸に歸つて欠点と特長を、美と健康の見地から心

静かに研究してご覧なさい。

明治から大正の物質文明の過渡期、多忙繁激な生活戦のルツボの中に生れ出され、はぐくまれて来た貴嬢等の肉體は、生れ乍ら、又育ち上りに、多くの欠陥がある。其欠陥の補ひもなく、何等の訓諫も經ずに一足飛びに、女子の社會進出は今日の結果を生んだものと云はざるを得ない。

如何にスービート文明とは云へ、唯單純なる現今の化粧では、何の生氣も得られるものでない。

こゝで新時代の實効ある化粧品が、諸君の手で廣く造られたなら、僕の本來の目的が解決されると共に、日本婦人は世界の女王となるを得るであらう。

## 會章の制定

當化粧品製造化學研究學會ハ、其目的ト成果ヲ表現スル、左ノ如キ會章ヲ造リ、會員諸君ヘ分配スル。



- ▲會員胸章ハ七寶製
- ▲大キサハ五分圓形
- ▲化ノ字ハ赤色
- ▲黒キ部分ハ青色
- ▲試験管ハ白色
- ▲花瓣ハ銀色
- ▲實ニ見事ナ逸品デア

一日モ早く申込マレテ、新時代ノ叡智ニツキ進マレル、會員諸君ノ熱誠ヲ、其胸ニ輝カサレン事ヲ望ミマス。

會章の制定

此會章ハ實ニ形而上的ナ多クノシンボルヲナスモノデアツテ、一口ニ云ヘバ、化學ニヨツテ花ト試験管ハ我等ガ求ムル化粧品トナル事ヲ意味スル。

櫻ハ花瓣國粹ト美ト色ト香ト健康ト叡智ヲ表現シ、ソノ充實セルホルモンハ化學ノ力ニヨツテ試験管ヲ通シテ、化粧品香料トナルヲ意味スルト共ニ、東方ニ明星ノ如ク輝ク胸裡ニ燃エ出ヅル我等同人ノ化學日本ノ姿ヲ思ハセズニ置カヌ、實ニ美シイ、マ

ークデア

御希望ノ方ハ郵券又ハ振替デ實費(金三十八錢)送ツテ下サレバ會員ニ限リ御分配申シ上ゲマス。

欄 答 應 問 質

質問 應答

問 近頃ノ新聞ニアル藥品ヤ化粧品ノ廣告ヲ見マス「生活菌」ト云フ事ガ諸方ニ出テ居マスガ、生活菌トハドンナモノデセウカ、御教示ガ願ヒ度イノデス。

(千葉市西院内 梶田永三郎君質問)

答 コノ質問ハ、何レ講座ガ號ヲ遂フニ從ツテ講師ガ解説ヲナサル事ト思ヒマスガ、左ニ簡易ニオ答スル人間ノ食ベタモノガ人體内ノ色々ナ消化液ノ力デコナサレテ血ニナリ肉ニナル、毎日三度ノ食物モサウシテヨク身體ヲ養ツテ行クノデスガ、是等ノ食物ヲ人間ノ身體ヲ借リズニ體外デ化學的ニ消化サセテ見ルト、或ハ高壓ヲ加ヘタリ高温ニ置イタリ腐敗酸敗ヲ防イダリ、中々生ヤサシイ操作デハ消化サレナイ。ツマリ人體内ニハ酵母菌ガアツテ、之ガ觸媒作用スルカラ簡單ニ出來ル譯デ、モ

一八

シ此ノ菌類ガ人間カラ取り去ラレタラ、吸收・排泄・循環・呼吸ノ總ユル生活力ハ微弱ニナツテ、一日モ健康ガ保テナイ。ソコデ是等ノ菌類ヲ補給スル爲ニ實驗動物ニ之ヲ繁殖サセテ、其活生ノマ、ノ生活シテ居ル菌類ヲ澤山ニ拵ラヘイテ藥品トスルノデアアル。

ソノ内デモ乳酸菌ダノイースト菌等ハ、酸ニ強イ性質ダカラ飲ンデモ胃液ヤ等ニ犯サレズニ腸管ニ入ツテ、人間ノ食物ヲ棲家ニシ盛シニ繁殖シ活動シテ消化ヲ助ケ又血管内ニ入ツテハ多クノ寄生虫ヤ、悪性ノ細菌即チ病菌ヲ亡シテクレルノデ「生活菌」ヲ應用シテ、人體ノ榮養ヲ盛ンシ、又肉體美ヲ完成サセテ行カレルノデアリマス。之ヲコロイド脂肪カ何カト合シテ、皮膚ヨリノ滲透デ細胞ヤ組織ニ入ラセテ行ク事ヲ化粧品ニ應用スレバ飲下ノミニ依ラズ、即チ藥ノミニヨラズ肉體美ノ完成ガ出來マシヨウ。

談 相 容 美

質問

家ノ内ニ計リ居マシテ、強イ日ヤ風ニアタツタ事ガナイノニ色ガ黒クテ困リマス。色ヲ白クスル法ヲ教ヘテ下サイ。(目黒區駒場 K・T女)

應答

色ノ白イハ七難カクストハ古今ヲ通ジテノ至言デ、顔色ノ赤黒クナル原因ハ大別二ツニ分ツ事ガ出來ル。

一ツハ海水浴ヤ屋外作業デ強イ日光ノ直射ヲ受ケ紫外線ノ爲メ皮膚内ノ毛細管現象ニヨリ血色素ガ分解シテ堆積シ赤黒クナル場合。

二ツハ、貴嬢ノ様ナ場合即チ胃腸障害其他敗血ノ疾患ノ爲メ、體内

美容相談

一九

毒素ヲ生ジ、其毒物ガ鬱血ヲ來タシ血色素ヲ分解堆積スル場合ガ多クアリマスカラ、ヨク自分ノ健康ノ具合ヲオ考ヘニナツテ病原ノ治療ヲナサツテ、新陳代謝ヲ盛ンニスルト、自然ニ白ク生キ生キシタ膚ニナリマス、又、貴嬢ニハサウシタ事ハアリマスマイガ、遺傳ノ梅毒性ソノ他ノ爲メノ場合モアリマス。

以上ノ原因ヲ除去シタ上デ、過酸化水素又ハ硼砂ヲ五十倍以上ニトキ、一日數回洗滌スル、ソシテ朝夕コールドクリームニ鹽酸キニーネ百分ノ一ヲ加ヘテヨクマツサージヲシ、洗顔ノ場合ハ百倍位ノ硼砂水ニ硫酸ヲ加ヘテ洗フノガヨイト思ヒマス。サウシタ手入レヲ續ケル内ニ色白ナ美シイ顔

ニナリマス。

質問

顔面が春カラ夏ヘカケテ脂切ツテ秋カラ冬ヘカケテ、カサカサニ荒レテ困リマスガ良イ手入法ハアリマセシカ、オ教ヘ下サイマシ。(伊豆下田町T.S.嬢)

應答

貴嬢ノ申サレルノハ、一般普通ノ健康ナ御婦人ノ皆様ノ惱ヤミデス。ツマリ皮脂ノ分泌ヲ調節シテ行ケバ自然ニヨクナツテ、寒風ニモ荒レズ熱候ニモ漏脂ガ多クナクナレバヨイノデス。化粧ニ直接スル人ノ表皮ノ角層ハケラチント呼ブ蛋白質デスカラ、アルカリニ崩壊スル性質ナレバ、石鹼洗顔ヲハゲシクヤルト表皮ヲ破壊シテ、或ハ荒シ或ハ皮脂ノ分泌ヲ多カラシメルノデス。

純植物性ノ脂肪コロイドニヨツテ、造ラレタコールドクリームデヨクマツサージヲナシ、ガーゼデフキ取ル即チ脂肪洗顔ヲナサルトヨイノデス。若シコールドデ洗ツタ跡ガ、油コクテ氣分ガ悪カツタラ、ライラツク液ヲガーゼニシマセテフキ取ツテ置ケバ、自然ノ間ニ、美シイ滑カナオ肌ニナリマス。

夏デシタラ、新鮮ナ胡瓜ノ汁ニ百分ノ一位ノ硼砂ト、千分ノ一位ノキニーネヲ加ヘテ、コノ水デフキトツテ置ケバ、色モ白クシマス。

質 問 券

Table with 10 vertical columns for writing questions.

化粧品製造化學研究學會

編輯部御中

住所 質問者

氏名